

AlphaJet



ユーザーリファレンス

(株)ユカアンドアルファ

2026/4/14 改訂

目次

【出力操作手順】 p.9～p.14

(1) 出力準備	2
1) パーツ名称(主なパーツ)	2
2) AlphaJet 使用準備.....	3
(2) プロッター出力	9
1) ファイル選択～出力.....	9
2) 連続出力.....	11
3) 出力開始位置の変更.....	12
4) 部数変更.....	13
5) マーカーの回転.....	13
(3) 各アイコンについて	15
1) プロッター操作.....	15
2) ファイル操作.....	15
3) 画面操作.....	17
4) その他.....	18
(4) メニュー	19
4-1-1) Setup - Plotter Parameter.....	19
4-1-2) Setup - Plotter Type.....	27
4-1-3) Setup - Connect Type.....	28
4-1-4) Setup - Language.....	31
4-2) View.....	32
4-3) Backup.....	33
(5) ドライバーのインストール	34
1) ドライバー署名の強制化を無効 - Windows11 の場合.....	34
2) ドライバー署名の強制化を無効 - Windows10 の場合.....	35
3) Windows11,10 共通.....	36
4) ドライバーのインストール.....	38
(6) トラブルと対処方法	40

(1) 出力準備

1) パーツ名称 (主なパーツ)

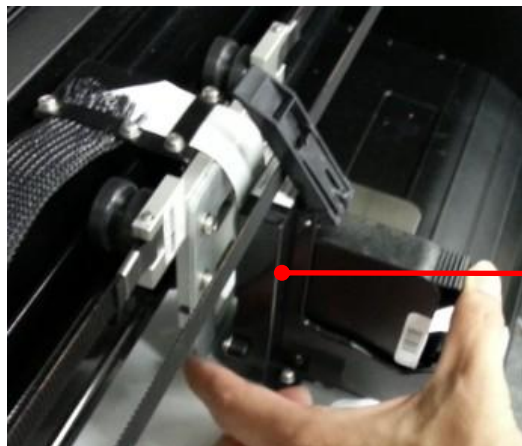


PAPER HOLDER(フランジ)

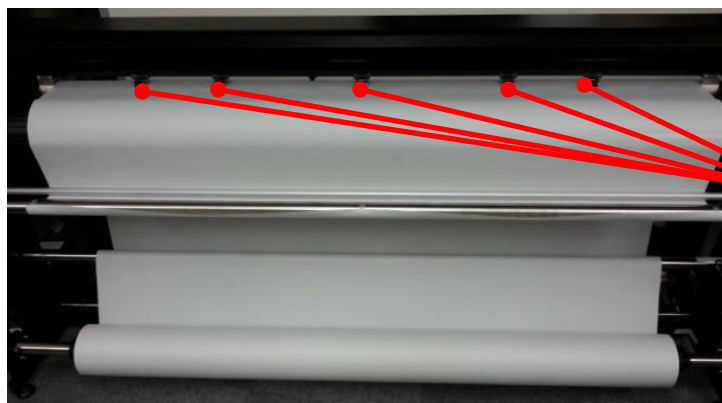
FEED ROLL(ロール紙シャフト)



PAPERTOUCHING DEVICE
(エンコーダーローラー)



INKCARTRIDGE DEVICE
(カートリッジデバイス)



PRESSURE DEVICE
(加圧ローラー)



TENSIONROLL
(スチール製テンションバー)
※後方テンション用



TENSIONROLL
(アルミ製テンションバー)
※前方テンション用



インクカートリッジ
(hp45)
型番:51645AA#003

2) AlphaJet 使用準備

1) 「FEED ROLL」にロール紙をセットします。

FEED ROLL 左側にある PAPER HOLDER を付属の六角レンチで取り外し、ロール紙を FEED ROLL にセットして下さい。



※FEED ROLL 右側にセットした PAPER HOLDER 固定位置は動かさないで下さい。

インクの描きだし位置を元に、ビニールテープで位置決めをしています。



ロール紙のセットする方向は下図の向きとなります。



2) ロール紙をセットした FEED ROLL を下図のように置きます(乗せるだけです)。

※この時点では FEED ROLL をモーター(四角い突起)にセット(ロック)しないで下さい。



3) 用紙を下図のように送ります(銀色の梁の手前を通過させ、後ろ側へ送ります)



ロール紙は、銀色梁の手前を通過

4) ロール紙を AlphaJet 後ろ側から加圧ローラー下に送ります。

※このとき、FEED ROLL はまだモーター(四角い突起)にセット(ロック)していません。



5) 4)で手前に引き出したロール紙を押さえたまま、FEED ROLL をモーターへセット(ロック)します。



6) AlphaJet 正面中央に立ち、ロール紙を左右に振りながら均等にテンションをかけます。

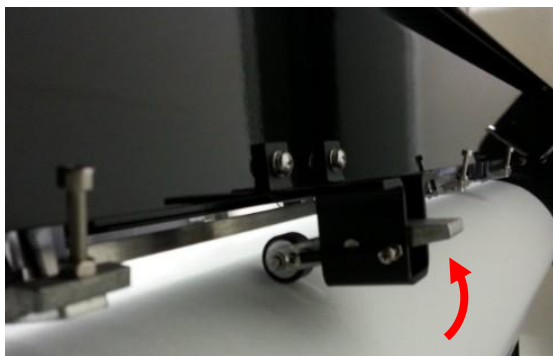


7) ロール紙にテンションをかけたまま、用紙押さえレバーを手前に起こして加圧ローラーを下げます。

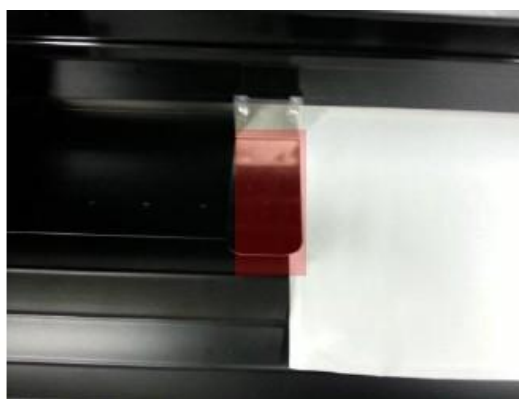
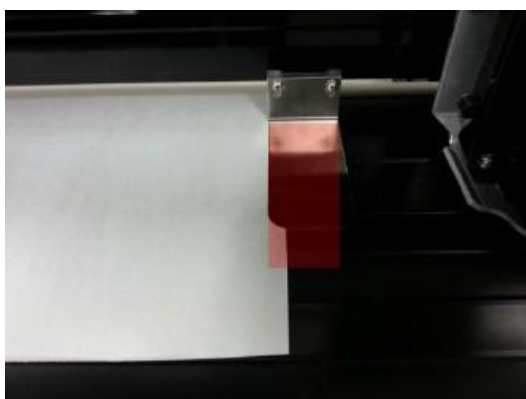
※機種により、用紙押さえレバーが右にある機種もございます。(以下の画像は左)



8) レバーを上げ、PAPERTOUCHING DEVICE(エンコーダーローラー)を下げます。



9) 用紙両端 5mm ほどの位置に浮き防止プレートを載せます。



10) インクを「CARTRIDGE DEVICE」へセットします。

10-1. 「CAETRIDGE DEVICE」を手で押さえながら、インクを斜めに入れます。

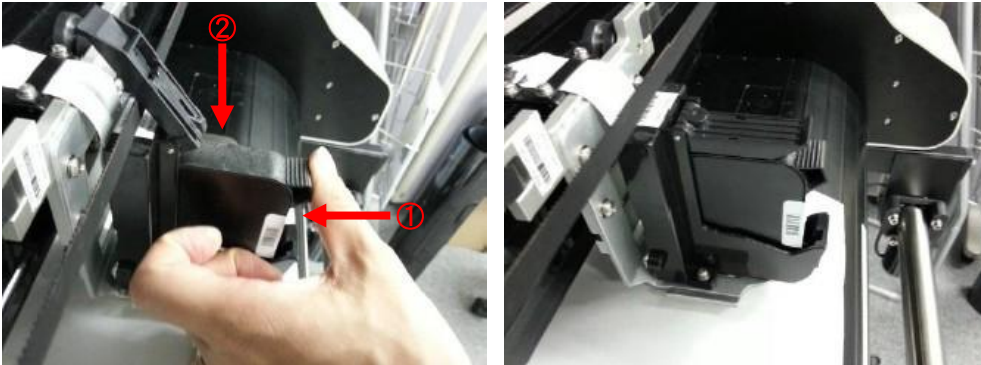
※故障の原因となる可能性がある為、インクの抜き差しは必ず AlphaJet の電源を OFF にしてから行って下さい。



10-2. ①の方向に押し、インクの背中をつけるように真っ直ぐにしたのち、②の方向からもきちんとインクを押し込み、「CARTRIDGE DEVICE」カバーを閉じます。

※インクがきちんとセットされていないと、作図が破線になる原因となります。

※カバーは力任せに閉じるのではなく、中のバネを指で押しながらゆっくり丁寧に閉じてください。

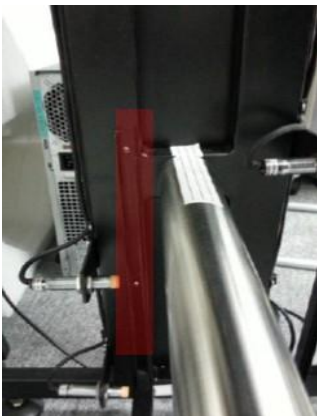


11) TENSION ROLL(スチール製)をセットします。

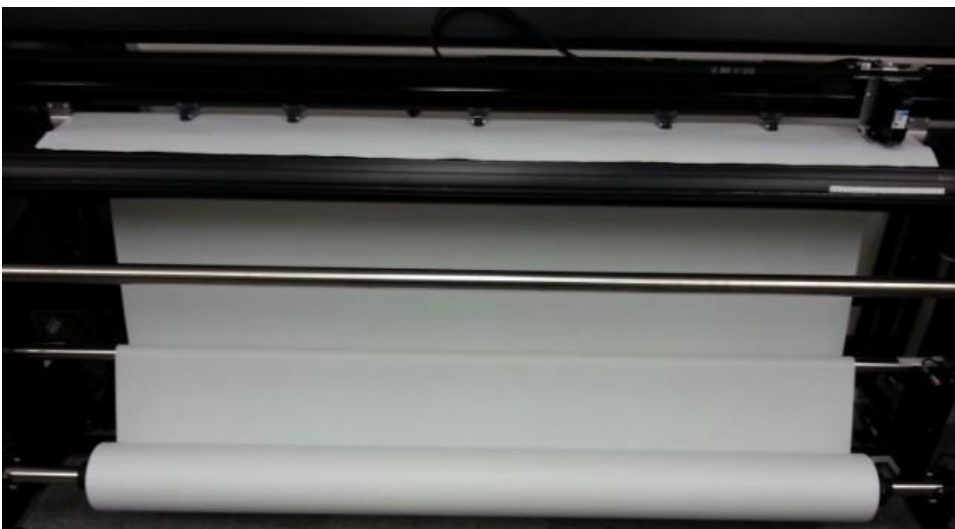
11-1. AlphaJet の電源を入れ、モーターが回転し紙送りを始めたらずちに電源をオフにします。

※電源を入れるのは約 2 秒程です。「FEED ROLL」を回転させ、ロール紙を一定量排出します。

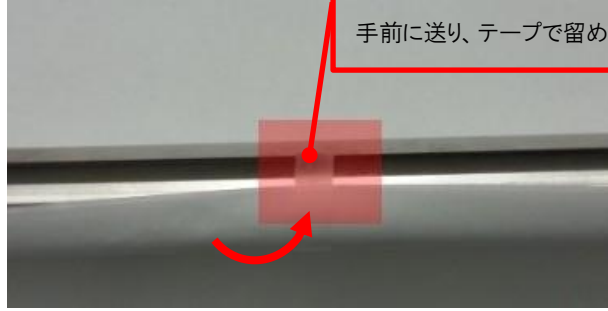
11-2. 後方のガイドレールへ「TENSION ROLL(スチール製)」をおきます。



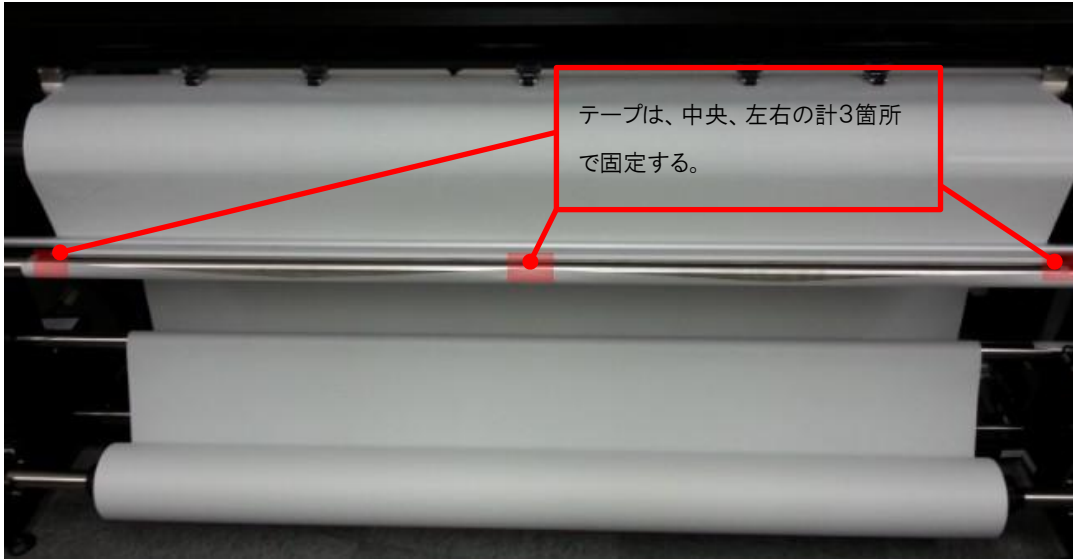
11-3. AlphaJet の電源を入れ、準備完了です。



※必要に応じて、ロール紙の巻き取りをご使用ください。

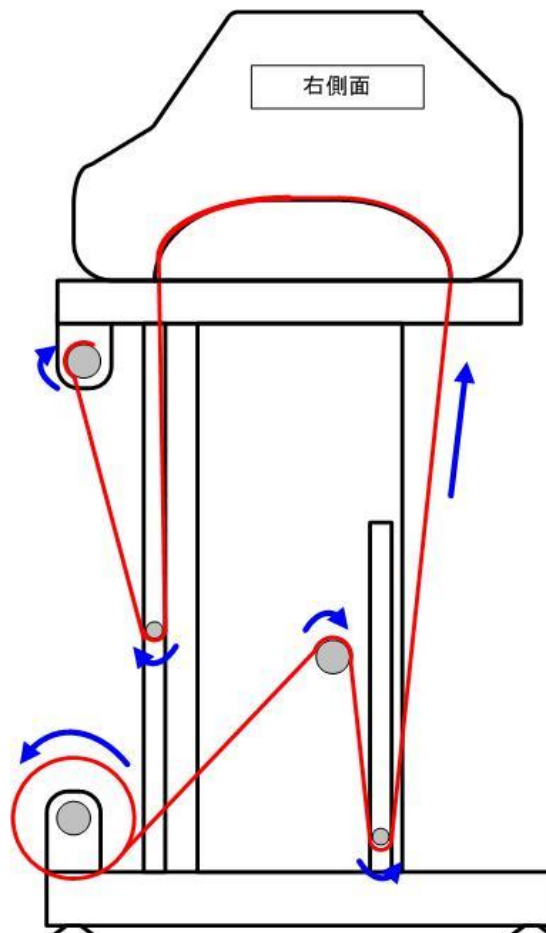


ロール紙は、巻き取りシャフトの下から手前に送り、テープで留める。



テープは、中央、左右の計3箇所で固定する。

◎ロール紙セットの流れ



(2) プロッター出力

1) ファイル選択~出力

1) CADにてプロットファイル(オフラインファイル)を作成します。

AlphaJet 出力条件

【Alpha myu 条件設定】

機種名:HP700

オフラインへ

オフライン格納フォルダ:任意のフォルダ

縦:紙幅より-2cm程度(1600幅:158、1800幅:178、2000幅:198)

表位置:右側

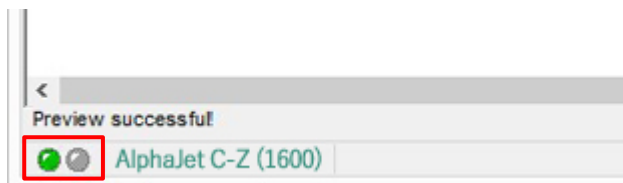
2) 「Plot」を起動します。



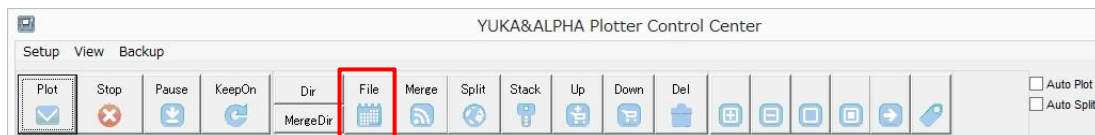
3) AlphaJet の認識状態を確認します。

画面左下の点灯色が「緑」であれば、AlphaJet を正常認識しています。

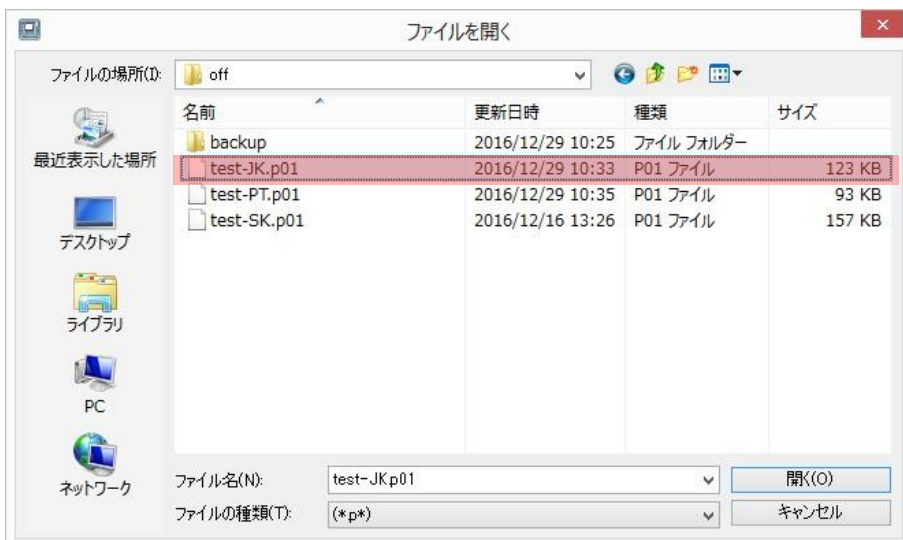
「赤」の場合、AlphaJet を認識していないので、ケーブル接続状況の確認もしくはネットワーク状況の確認をして下さい。



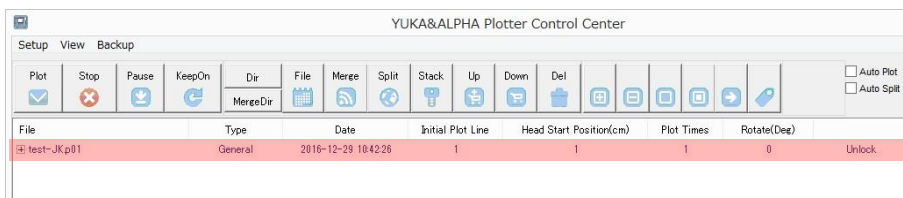
4) メニューアイコンの「File」をクリックします。



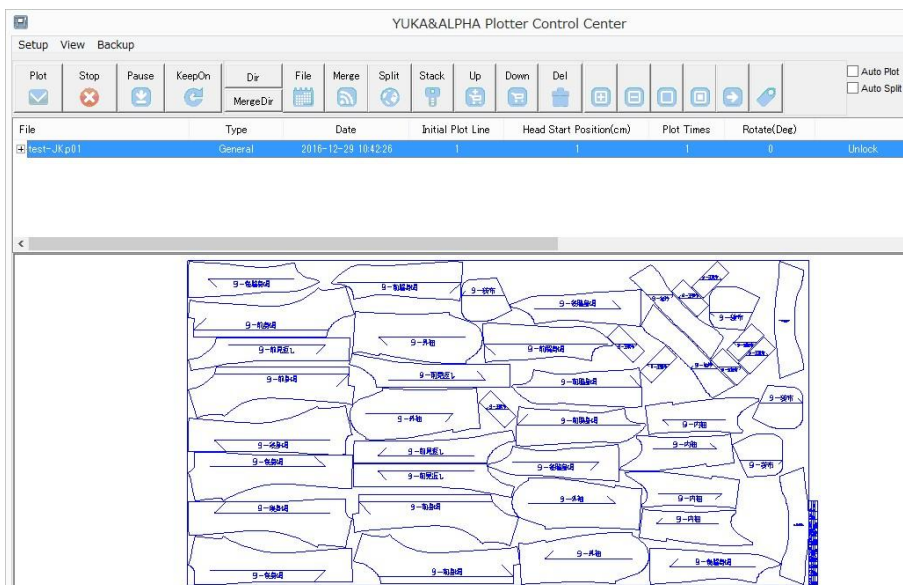
5) 出力したいマーキングファイルを選択し「開く」をクリックします。(複数ファイル選択も可能です)



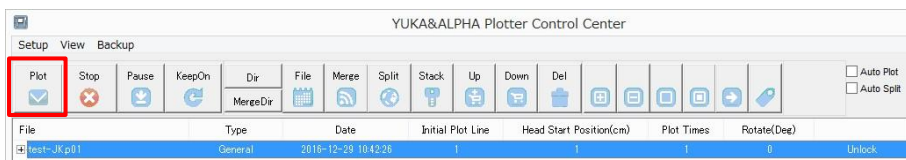
6) 開いたプロットファイルがリスト表示されます。



リストにあるプロットファイルをクリックすると、プレビュー表示されます。



7) 出力するプロットファイルを選択し、「Plot」をクリックすると、出力が開始されます。



基本的な操作ボタンは以下となります。

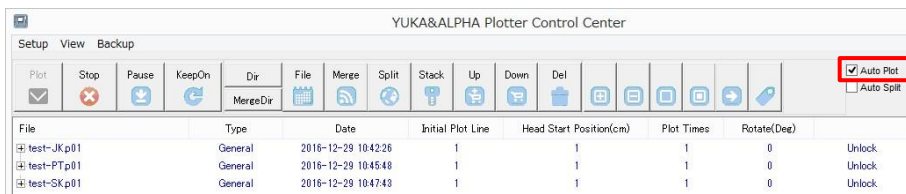


「Plot」・・・出力開始 「Stop」・・・出力中止 「Pause」・・・一時停止 「KeepOn」・・・出力再開

2) 連続出力

複数のマーキングファイルを連続して出力することができます。

- 1) 上述の「ファイル選択～出力」の手順で複数ファイルをリスト表示します。
- 2) メニューアイコン右側にある“Auto Plot”にチェックを入れると、リストで選択したファイル以降のファイルを連続して出力します。

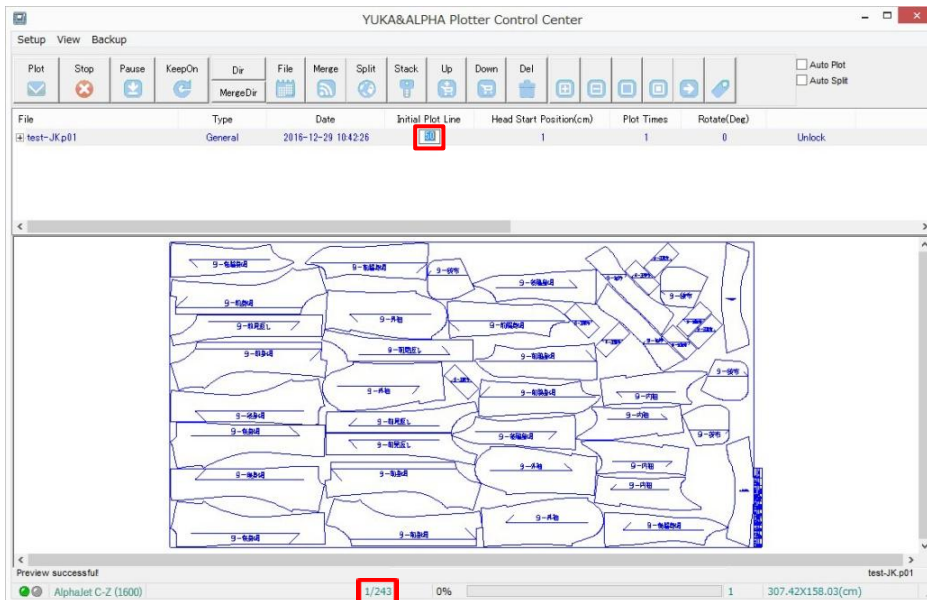


※出力中に“Auto Plot”チェックを外すと、出力中のマーキングファイルを描き終えて止まります。

3) 出力開始位置の変更

マーキングファイルの途中から出力を開始することができます。

- 1) リスト表示されているマーキングファイルの“Initial Plot Line”箇所をクリックします。
- 2) 出力を開始したい行を入力します。
それ以降の操作は、上述の「ファイル選択～出力」と同様です。

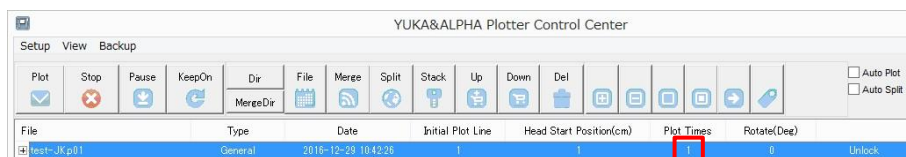


※画面下に表示されている「○/○」は、出力に要するインクカートリッジの往来回数を表しています。

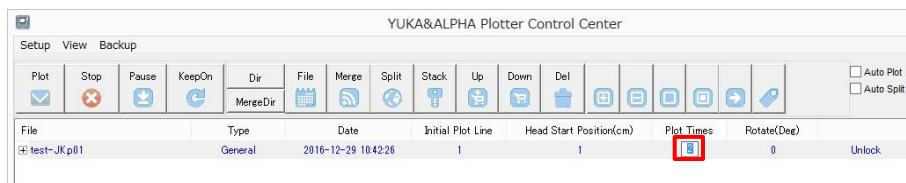
※出力開始行とは、「○/○」のインクカートリッジ往來の分子を指します。

1つのマーキングファイルを複数部数出力することができます。

1) リスト表示されているマーキングファイルの“Plot times”箇所をクリックします。



2) カーソル表示がされたら出力したい部数を入力します。

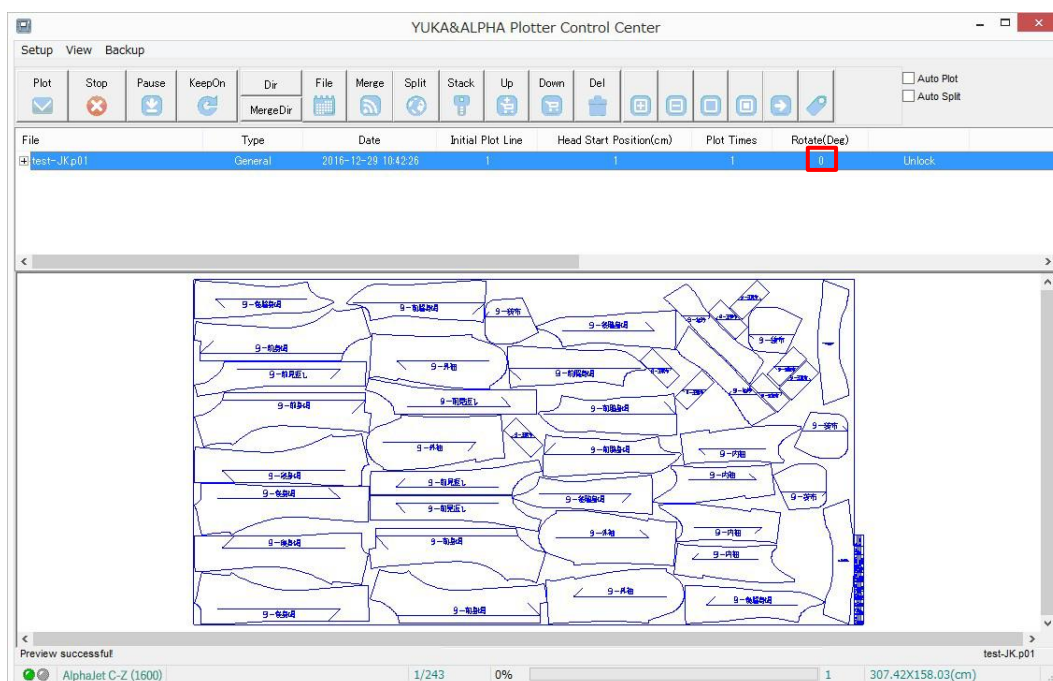


それ以降の操作は、上述の「ファイル選択～出力」と同様です。

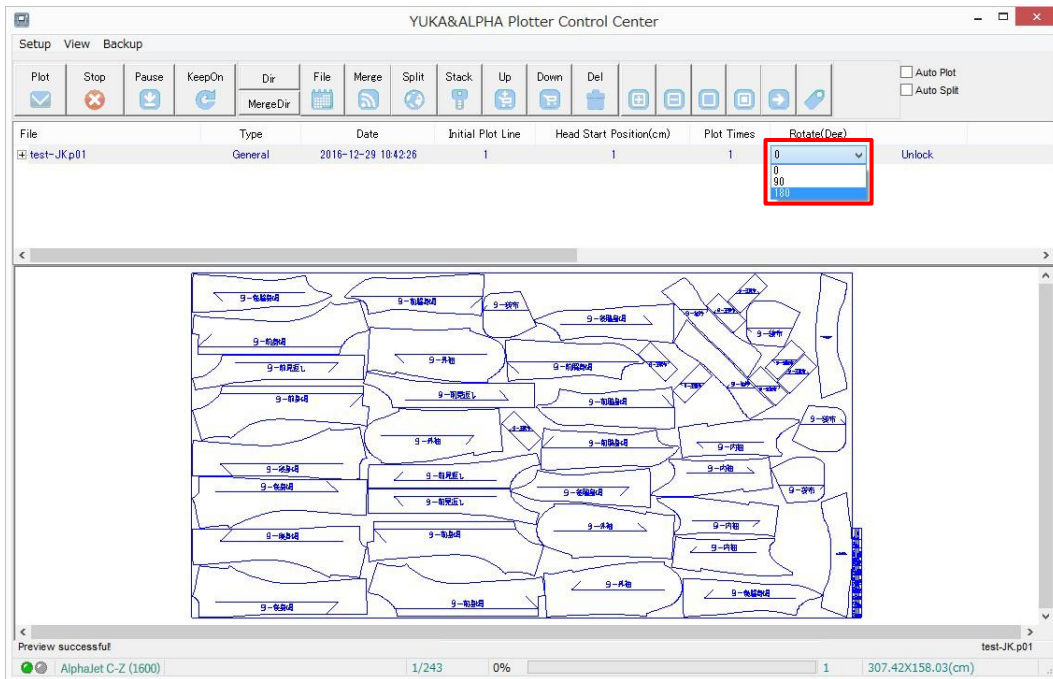
5) マーカーの回転

マーカーファイルを回転させることができます。

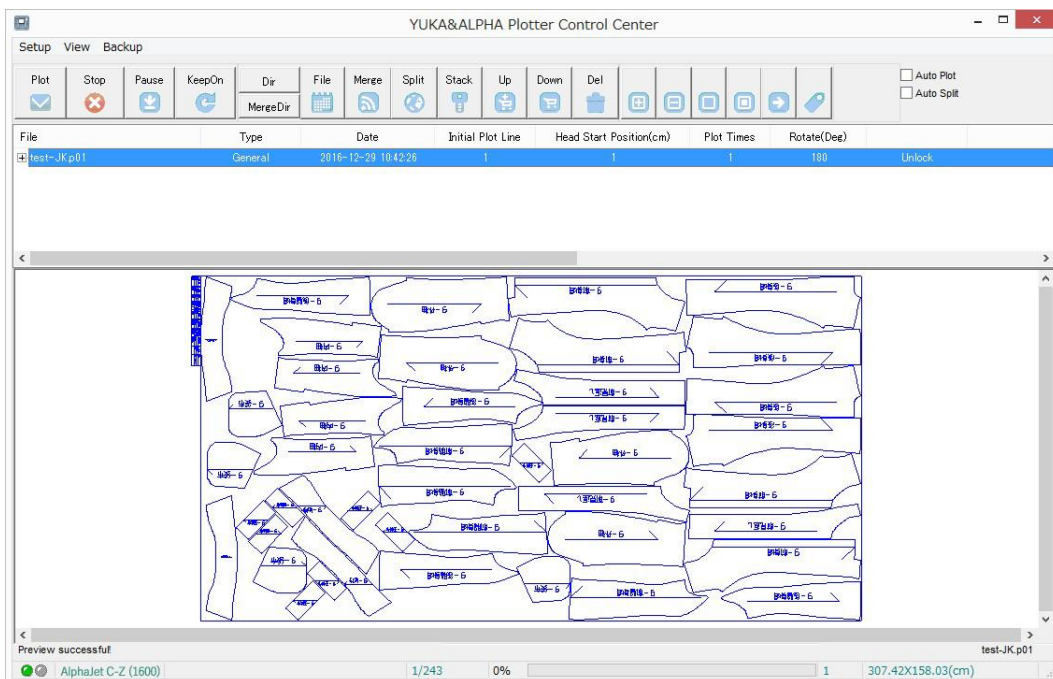
1) リスト表示されている、回転させたいマーカーファイルの“Rotate(Deg)”をクリックします。



2) プルダウンリストにて「180」をクリックします。



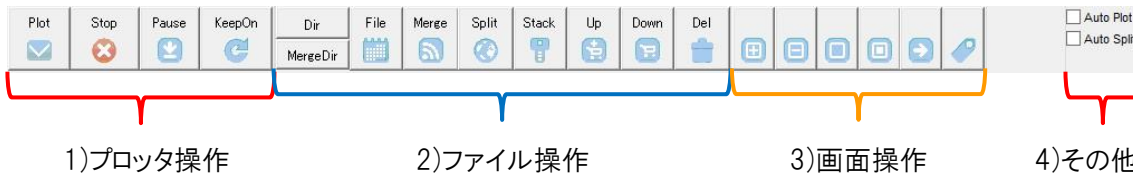
3) マーカーファイルが 180 度回転されます。



それ以降の操作は、上述の「ファイル選択～出力」と同様です。

(3) 各アイコンについて

ソフトウェアの各アイコンについて分類別に記載します。



1) プロッター操作

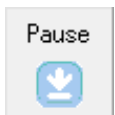
主に AlphaJet 本体の出力開始や停止などを制御するアイコンです。



Plot
選択しているファイルのみ AlphaJet にて出力開始します。



Stop
出力中の AlphaJet を途中で中止します。



Pause
出力中のファイルを AlphaJet にて一時停止します。
※本体の[Pause]押下と類似の動作です



KeepOn
一時停止中の AlphaJet の出力を再開します。
※本体の[Pause]押下で一時停止中に、再度[Pause]押下と類似の動作です

2) ファイル操作

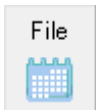
主にオフラインマーカーファイルの各種読み込みや並び替えなどを行うアイコンです。



Dir
特定のフォルダを指定しておくことで、そのフォルダにマーカーファイルが保存されると自動的に読み込みます。
※読み込まれた時点でフォルダ内の”Backup”フォルダにファイルが移動されます。



MergeDir
上記[Dir]と同じディレクトリ自動読み込み動作ですが、読み込み後の配置については後述する[Merge]の配置をします。



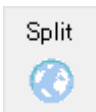
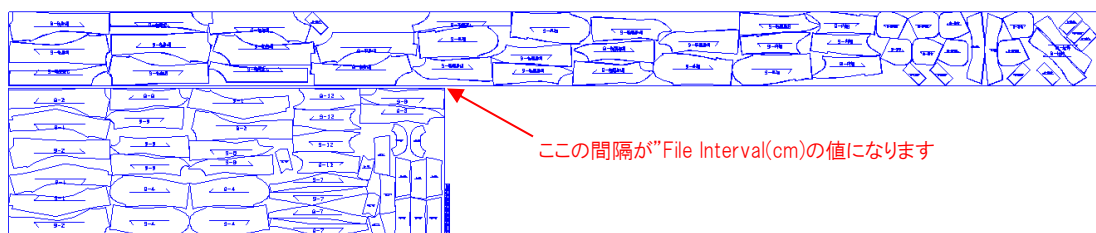
AlphaJet で出力するマーカーファイルを選択して、読み込みます。



P.25 の 4-11 "File Width(cm)" で設定されている数値以内であれば、複数のマーカーファイルを選択することで、横並びに配置することができます。

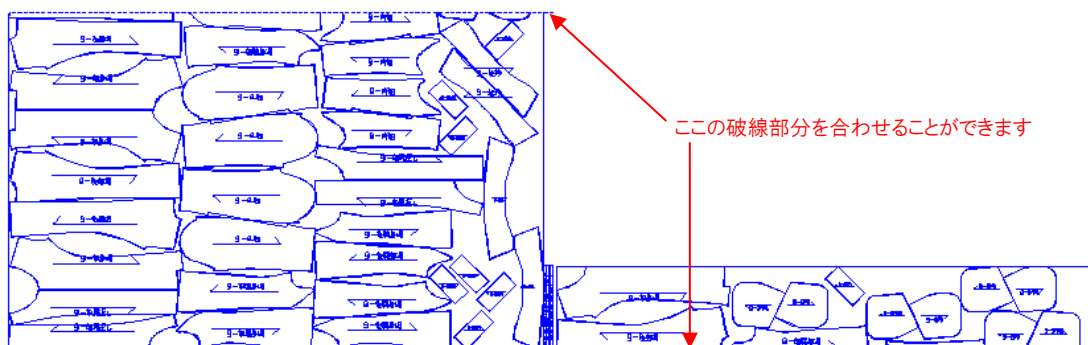
※マーカーファイル同士の間隔は P.25 の 4-10 "File Interval(cm)" となります。

例)設定が File Width(cm)=178cm、File Interval(cm)=1cm としている場合で、58cm 巾と 119cm 巾のマーカーファイルを[Merge]で読み込んだ場合下記の通りになります。



P.25 の 4-11 "File Width(cm)" で設定されている数値以上のマーカーファイルを選択した場合に、切り貼りすることを前提に縦並びに配置することができます。

例)下図のように読み込まれます。

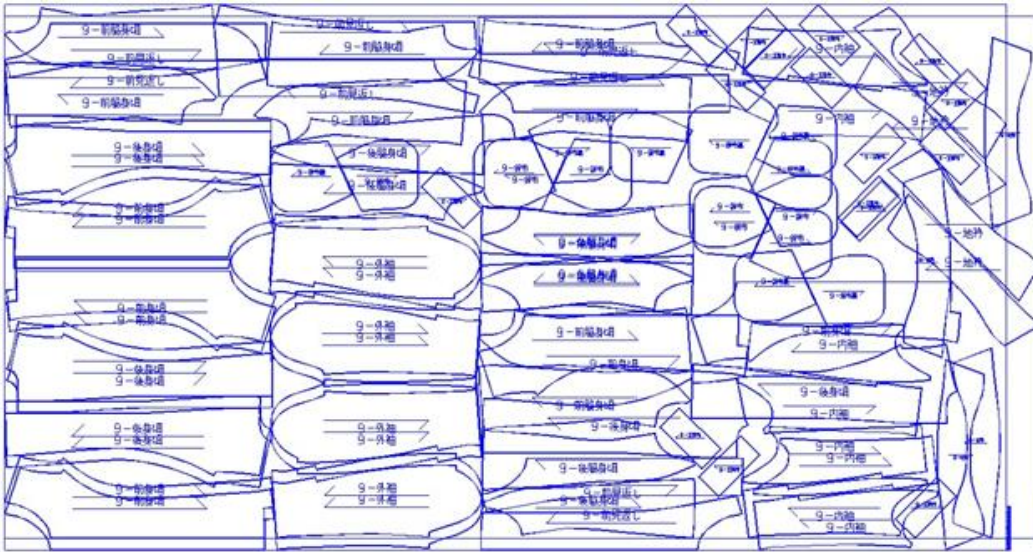


Stack



複数のマーカーファイルを選択することで、重ねて配置することができます。

例)下図のように読み込まれます



Up



Down



マーカーファイルが複数読み込まれている場合に、選択しているファイルを上や下に移動させることで、AutoPlot 時の出力順を変更できます。

Del



選択しているマーカーファイルを Plotter Control Center から削除します。

※オフラインマーカーファイル自体は削除しません

3) 画面操作

主にプレビュー画面の表示操作を行うアイコンです。



プレビュー画面を拡大表示します。



プレビュー画面を縮小表示します。



プレビュー画面を全体表示します。



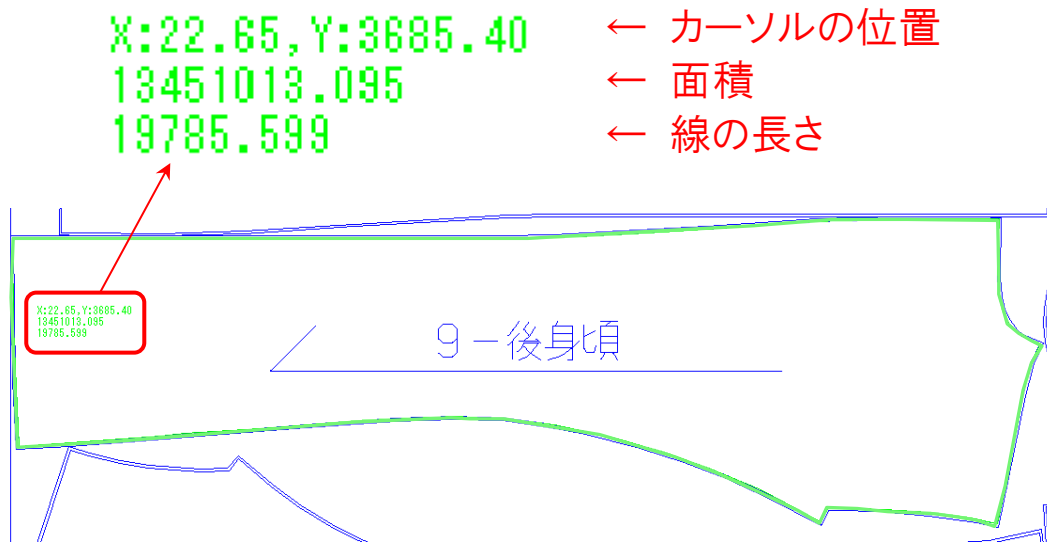
プレビュー画面の範囲選択した部分を拡大表示します。



プレビュー画面をドラッグアンドドロップで動かすことができます。



プレビュー画面で複数点クリックしていくことで、緑線における線の長さや、面積を表示できます。



4) その他

その他の動作に関する操作です。

- Auto Plot** ✓してあると読み込まれているファイルを自動的に連続出力します。
※ファイルを読み込んである状態から✓しても、その全てを連続出力します。
- Auto Split** ✓してあると P.16 の Split と同様に、切り貼りすることを前提にした縦並びの配置をすることができます。
※P.16 [Split] と同様の配置をします。

上部メニュー「Setup」「View」「Backup」について説明します。

Setup では、プロッターの出力設定を変更することができます。

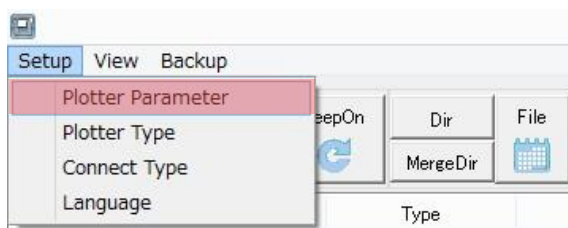
設定値を変更する場合は、事前にバックアップを取得したうえで実施することを推奨します。

バックアップファイルの作成・リストア方法については、p.33 をご参照ください。

4 - 1 - 1) Setup - Plotter Parameter

■ Caribrate: 出力時のスケール(実寸)調整

1) メニュー「Setup」-「Plotter Parameter」をクリックします。

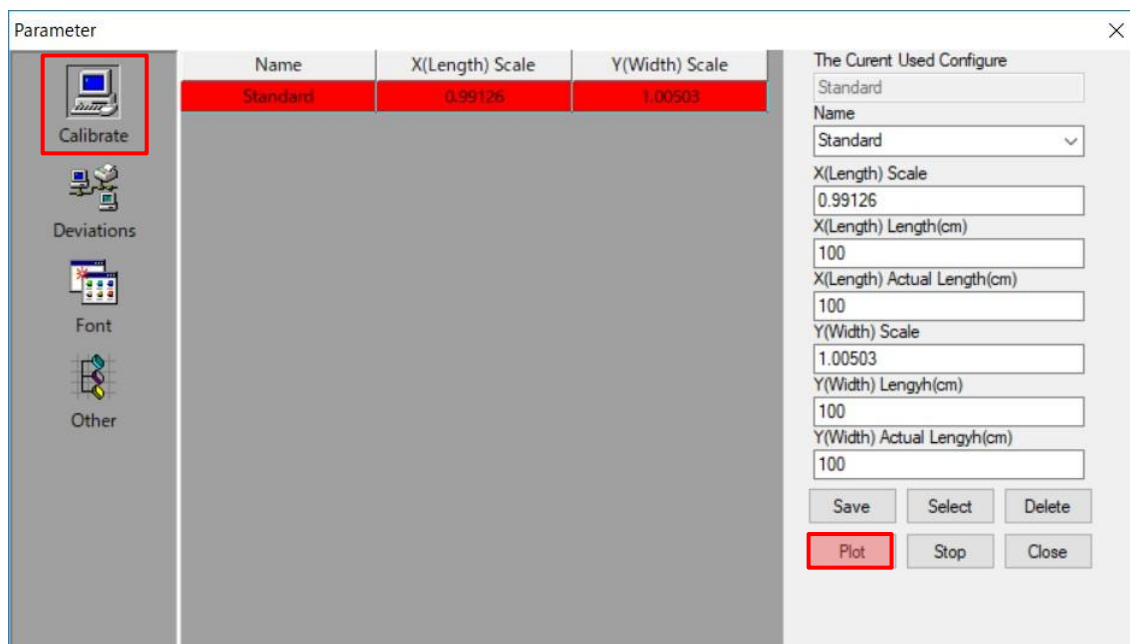


2) 「Calibrate」を選択します。

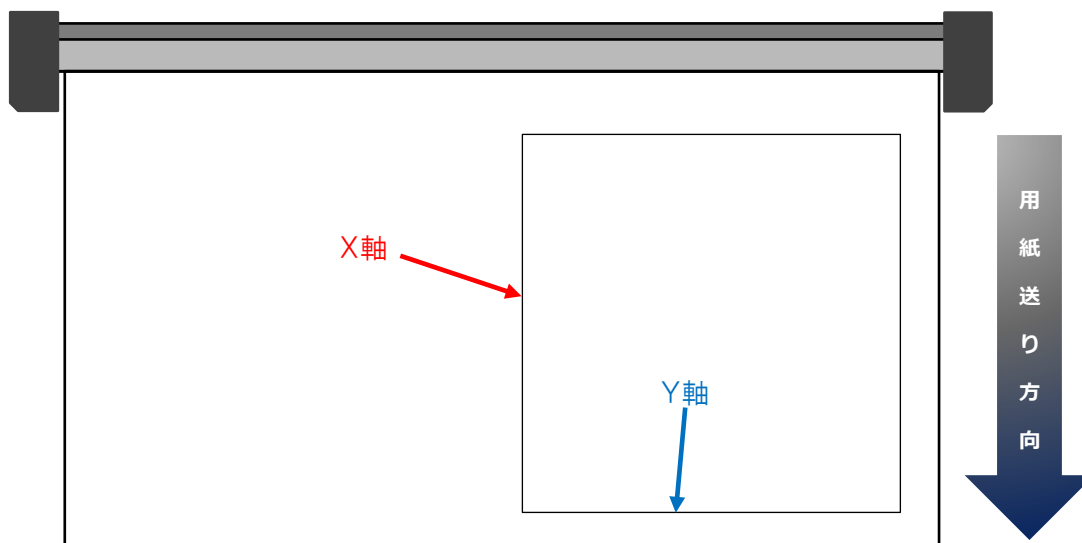
スケールの微調整を行います。

プロッター出力できる状態にして、[Plot]ボタンをクリックすると

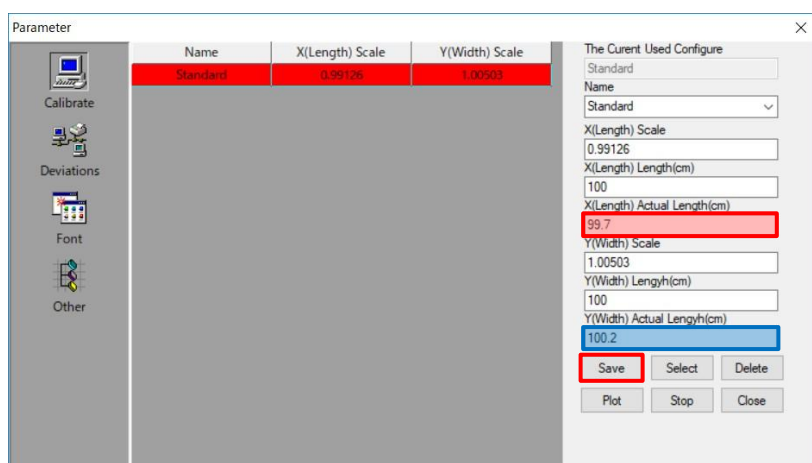
「一辺が1mの正方形」をプロット出力します。



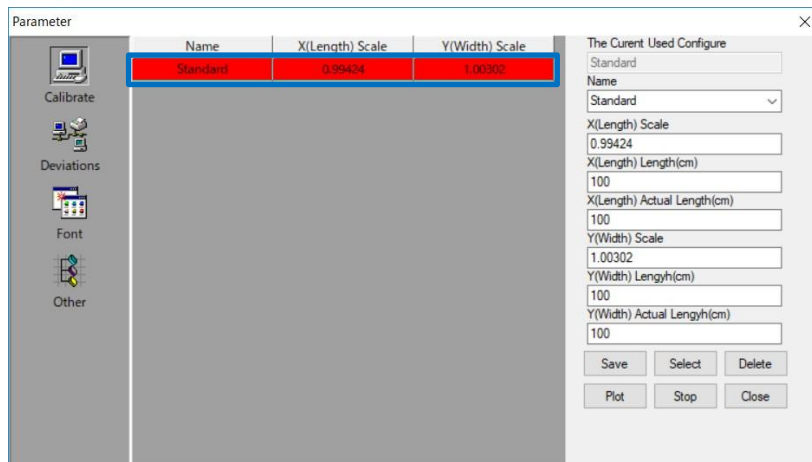
- 3) 出力された四角形の縦(X 軸)、横(Y 軸)をメジャーで測ります。
 なお測った値が 1m(100.00cm)だった場合にはスケール補正する必要はありません。



- 4) 測った実際の長さを「X, Y(Length) Actual Length(cm)」にそれぞれ入力して[Save]をクリックします。
 例) 下の場合は X が 99.7cm、Y が 100.2cm の場合



X, Y それぞれのスケール値が補正後の値に変更されます。

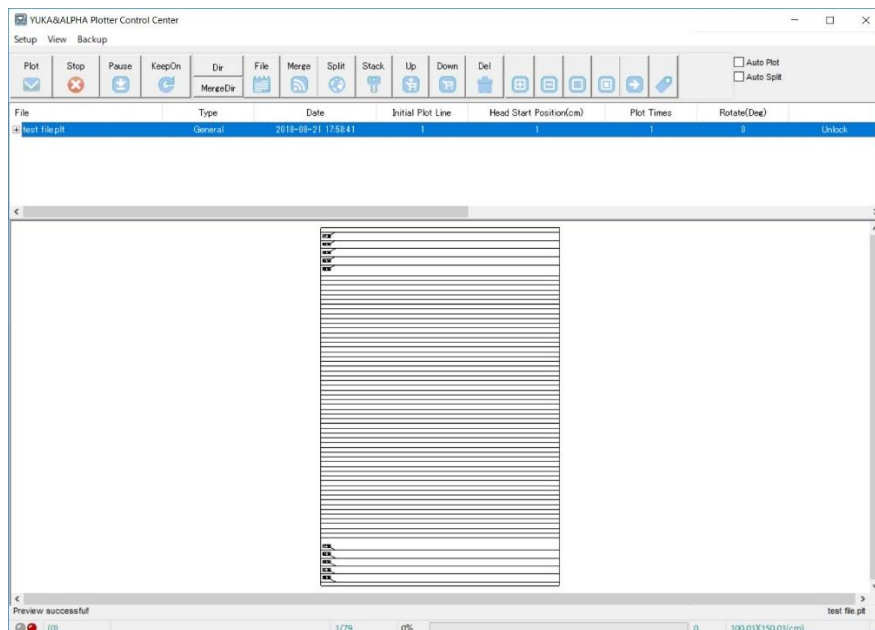


- 5) 再度(2)の「1mの正方形」をプロット出力して測り、スケールが正しくなるまで繰り返し調整します。

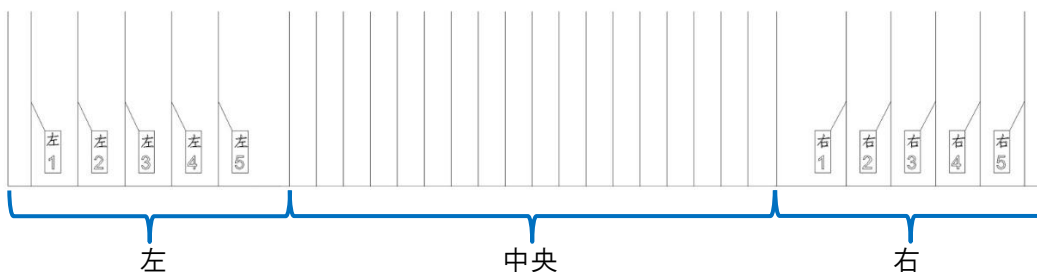
■Deviations: 出力時の往復による線ズレ補正

1) 線ズレの補正を行います。

プロッター出力できる状態にして、Plotter Control Center よりインストーラー内の
“Accuracy calibration and bi-directional adjustment¥test_file.plt”ファイルを出力します。



2) 下図のように出力されるので、主に「中央」、「左」、「右」の線ズレを確認して補正していきます。



◎中央を調整し、「test_file.plt」を出力します。

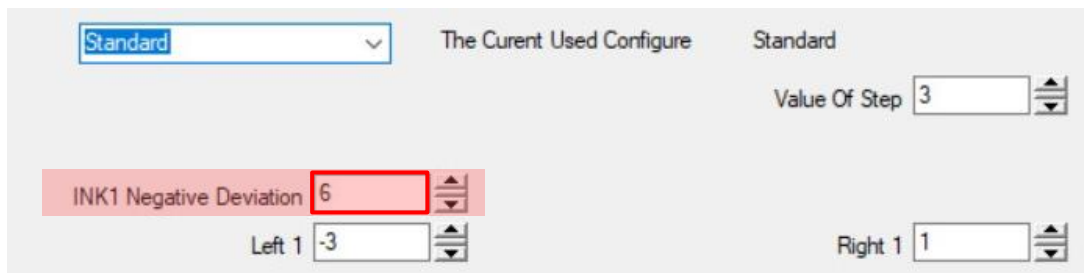
先ほどの出力結果と比較し、ズレが改善されましたら 2-2 , 2-3 の左右の調整は不要です。

中央調整後に、左右の線ズレがまたある場合は、2-2 , 2-3 の調整を実施してください。

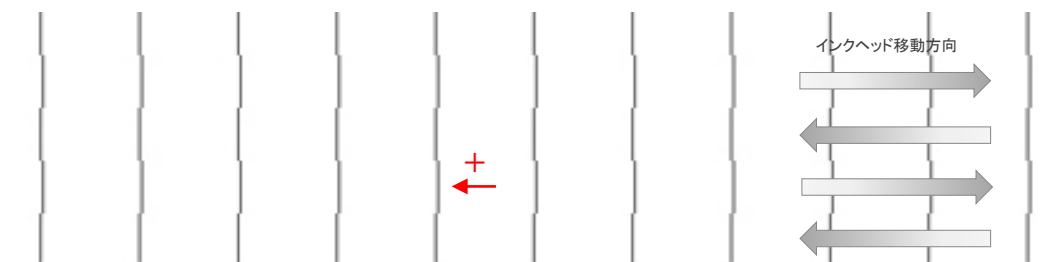
2-1) 中央付近の線ズレがないかを確認します。

中央付近のズレの偏差値を調整するには「INK1 Negative Deviation」を変更します。

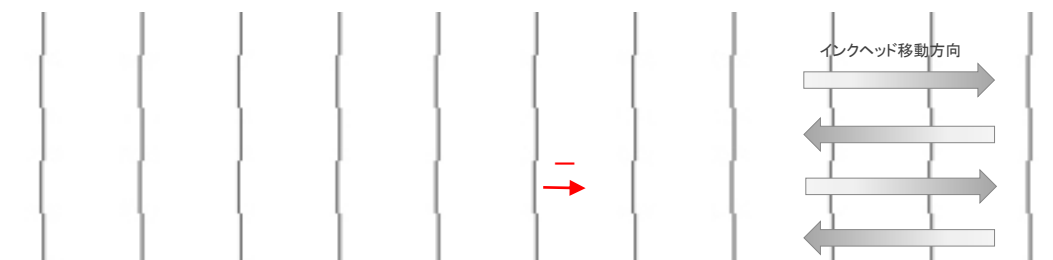
変更する値はズレている幅によって適宜調整してください。



A) 下図のようにズレている場合、INK1 Negative Deviation の値を「+」します。



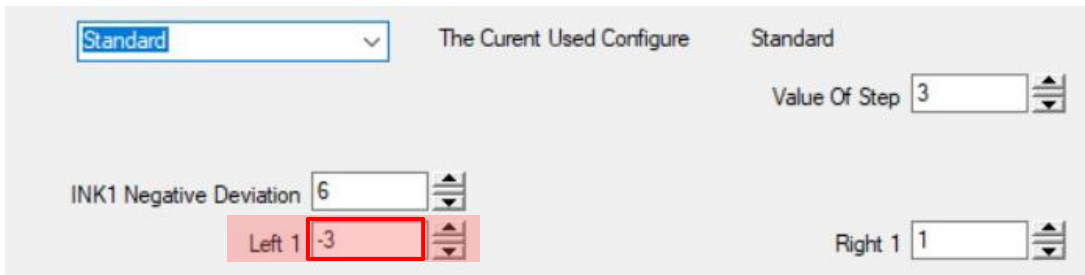
B) 下図のようにズレている場合、INK1 Negative Deviation の値を「-」します。



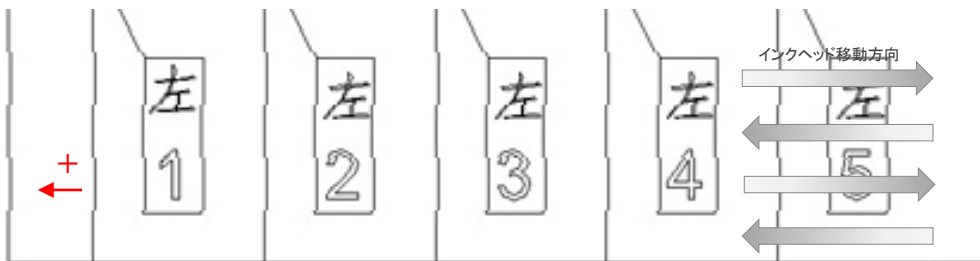
2-2) 次に左付近の線ズレがないかを確認します。

左付近のズレの偏差値を調整するには「Left 1」を変更します。

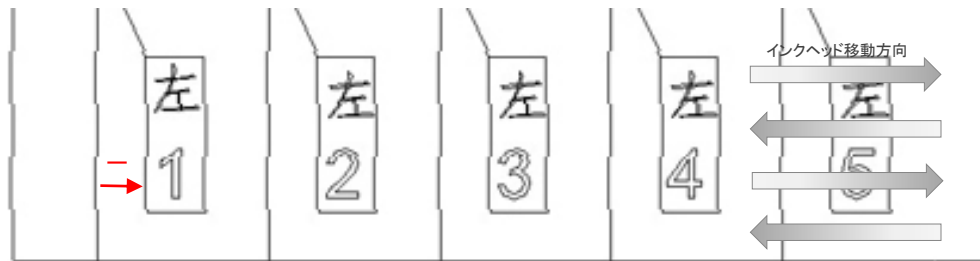
変更する値はズレている幅によって適宜調整してください。



A) 下図のようにズレている場合、Left 1 の値を「+」します。



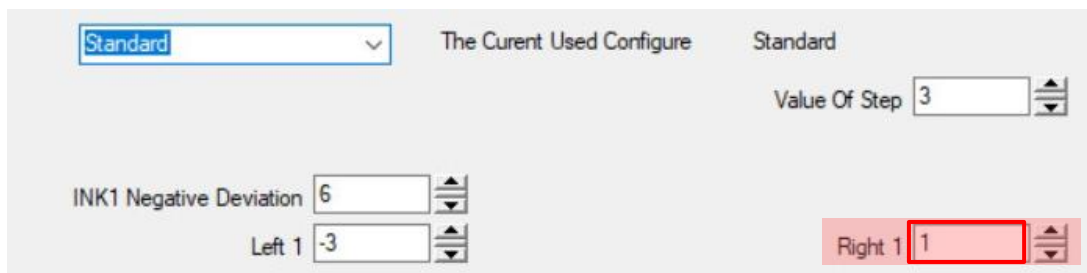
B) 下図のようにズレている場合、Left 1 の値を「-」します。



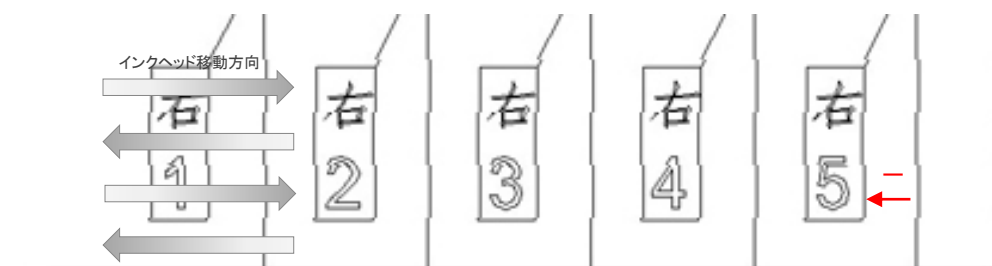
2-3) 次に右付近の線ズレがないかを確認します。

右付近のズレの偏差値を調整するには「Right 1」を変更します。

変更する値はズレている幅によって適宜調整してください。



A) 下図のようにズレている場合、Right 1 の値を「-」します。



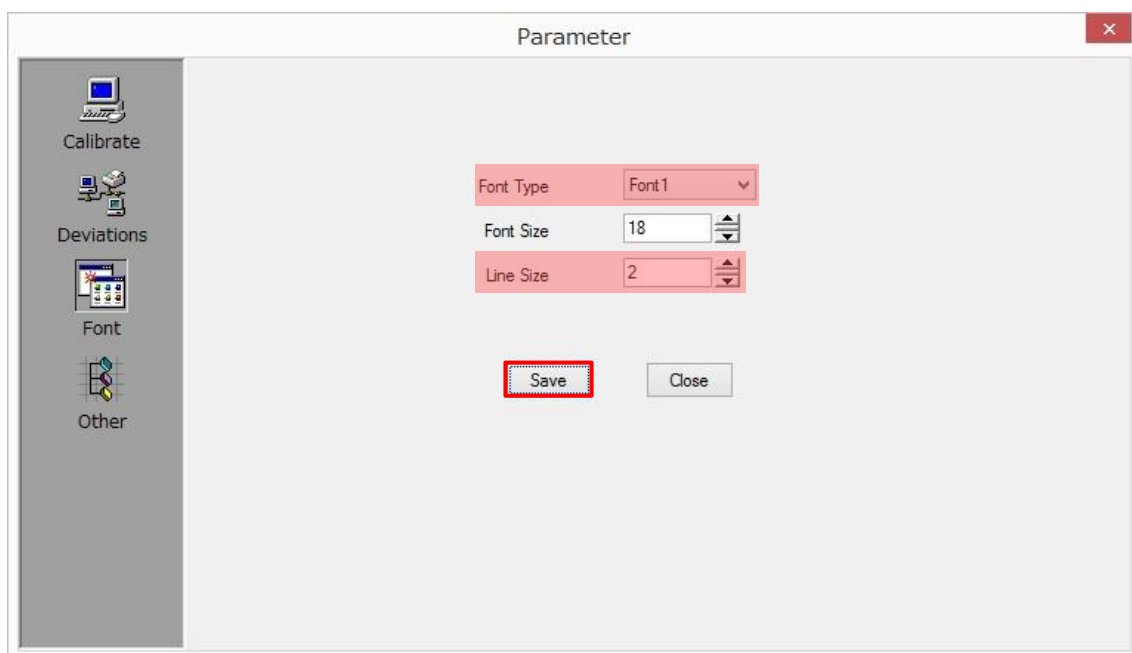
B) 下図のようにズレている場合、Right 1 の値を「+」します。



※ 線のズレに対して左調整時と＋が逆になります。

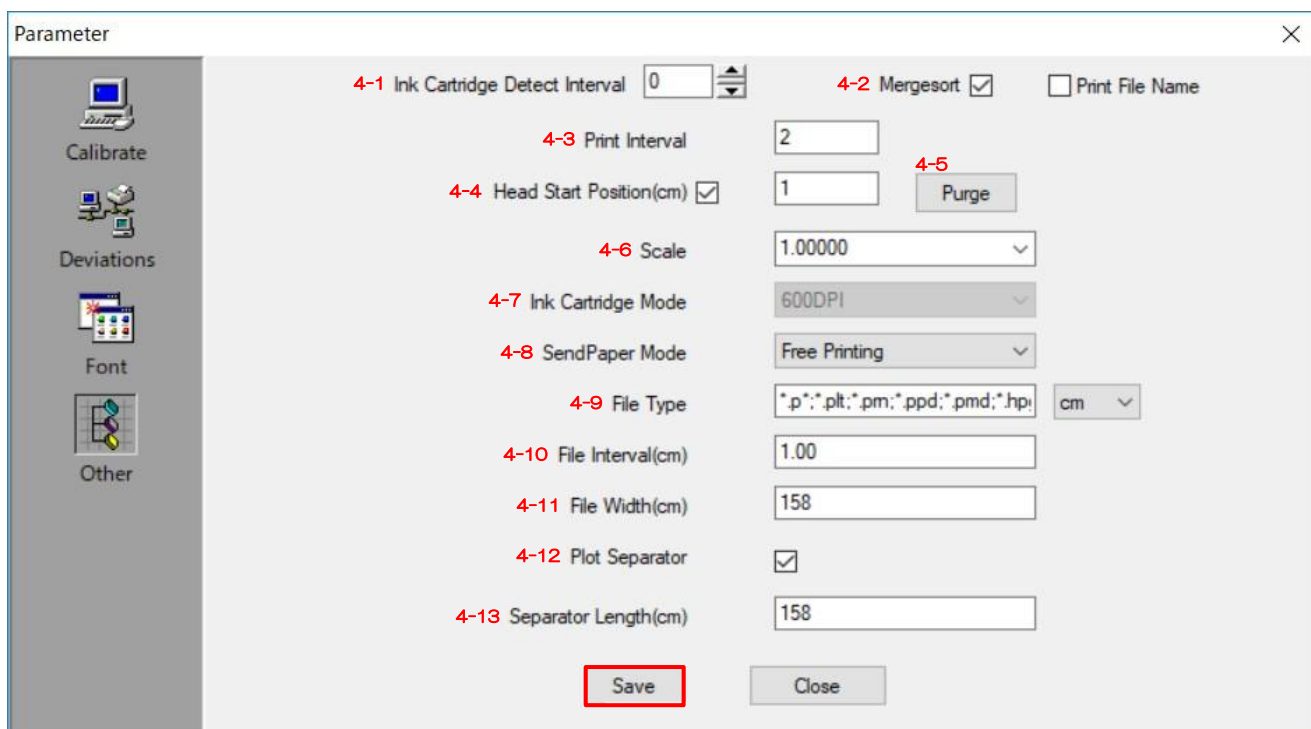
■Font: 作図線の太さ変更

作図線の太さを変更したい場合は、“Line Size”を変更し「Save」をクリックします。



■Other: その他の設定

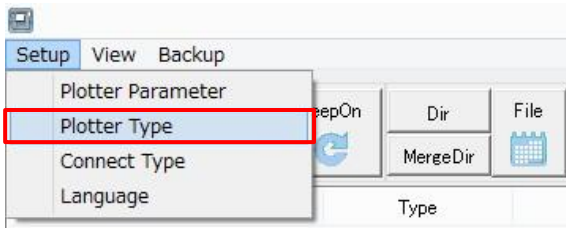
※4-1 以降を環境やご利用方法によって設定します。



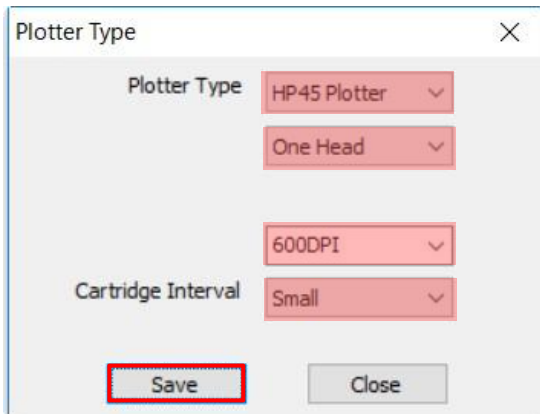
- 4-1. “InkCartridge Detect Interval” - 「0」から変更しないでください。
- 4-2. “Margesort” - ON、OFF により、[Merge]にてファイルを読み込む動作が変わります。
※✓ON: 同時に複数ファイルを選択追加できます。
✓OFF: 一つずつ追加することで並び順を意図的に決めることができます。
- 4-3. “Print Interval” - AutoPlot 時、各マーカファイルの余白間隔を設定します。
- 4-4. “Head Start Position(cm)” - ✓ON にして、ロール紙右端から何 cm の箇所を出力開始位置とするか設定します。数値を大きくすると全体的に左に寄ります。
※ロール紙のセット位置により異なります。 ※小数点は入りません。
- 4-5. [Purge] - クリックすると、複数の■を一往復だけ出力します。
- 4-6. “Scale” - 出力時のスケールを設定します。
※基本的に変更しないでください。”1.00000”で実寸大表示となります。
- 4-7. “Ink Cartridge Mode” - “600dpi”になります。
※基本的には変更できません。
- 4-8. “SendPaper Mode” - 「Free Printing」に変更してください。
- 4-9. “File Type” - 読み込めるオフラインファイルの種類を設定します。
※ユカ用オフラインファイルを読み込ませるため、最初に「*.p*」を加えます。
- 4-10. “File Interval(cm)” - [Merge]や[Split]の出力時に並ぶ各マーカ間隔を設定します。
- 4-11. “File Width(cm)” - 使用している用紙の紙幅を設定します。
余白として紙幅 -2cm 程度考慮します。
※1600mm 幅用紙の場合は、“158”等
- 4-12. “Plot Separator” - AutoPlot 時、各マーカファイルの間に一重線を印字するかしないかの設定をします。
各マーカと線の間隔は 4-3. “Print Interval”の値になります。
※✓ON: 印字されます。 ✓OFF: 印字されません。
- 4-13. “Separator Length(cm)” - 4-12.で✓ON 時の線の長さを設定できます。

上記値入力後、「Save」をクリックし、「Close」にて閉じます。

1) メニュー「Setup」-「Plotter Type」をクリックします。



2) Plotter Type で上から “HP45 Plotter”、“One Head”、“600DPI”、
Cartridge Interval で ”Small” をそれぞれ選択し、「Save」→「Close」の順でクリックします。

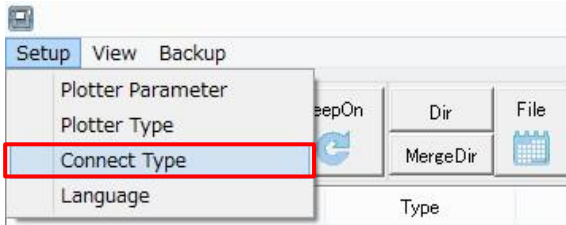


※基本的に変更しないでください。

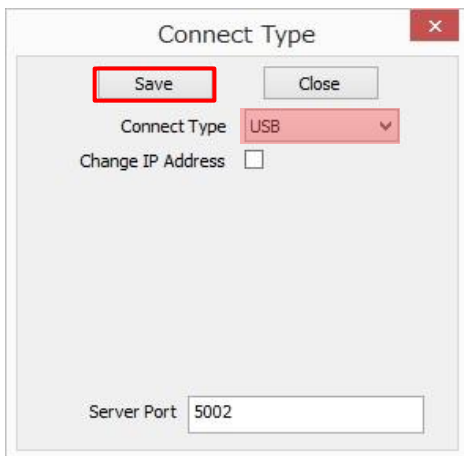
本項目では、接続インターフェースの設定および固定 IP アドレスの変更について説明します。
ご使用の環境に応じて適切に設定してください。

■ 接続インターフェースの設定 <USB 接続>

1) メニュー「Setup」-「Connect Type」をクリックします。



2) “Connect Type”を“USB”を選択し、「Save」→「Close」の順でクリックします。



■接続インターフェースの設定<LAN 接続>

AlphaJet の LAN 接続インターフェース使用時のセットアップを説明します。

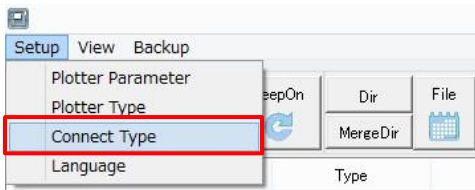
USB 接続の場合は本項の設定は不要です。

※設定する固定 IP アドレスが、ネットワーク上で既に使用されているアドレスと重複しないよう十分注意してください。

1) AlphaJet と PC を付属の USB ケーブルで接続し、AlphaJet の電源を入れます。

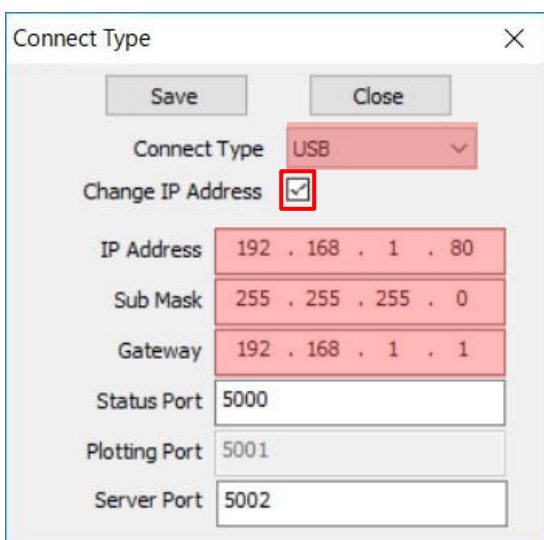
※USB のドライバーが PC にインストールされていない場合は、p34「ドライバーの再インストール」を最初に実施してください。

2) Plot の「Setup」-「Connect Type」をクリックします。

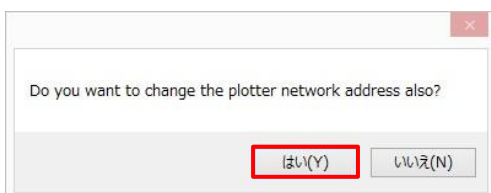


3) 下図のように“Connect Type”を“USB”にして、“Change IP Address”にチェックを入れます。

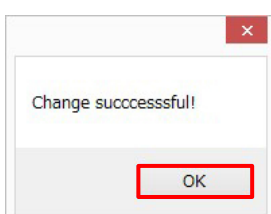
割当てる任意の IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイを入力し「Save」をクリックします。



4) 「はい」をクリックします。

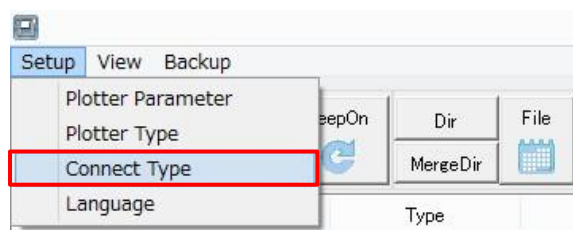


5) 「OK」をクリックし、AlphaJet の IP アドレス設定が完了です。

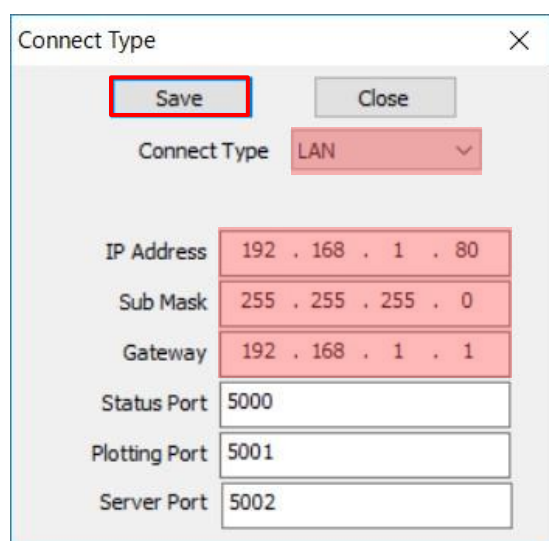


6) AlphaJet を USB ケーブルから LAN ケーブルに差し替えてください。

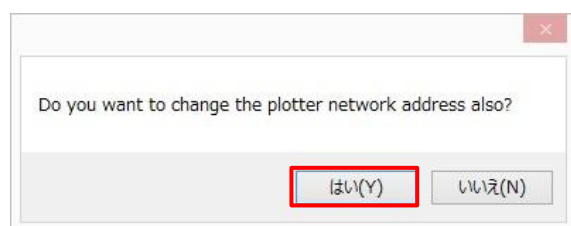
7) Plot ソフトを再起動し、「Setup」-「Connect Type」をクリックします。



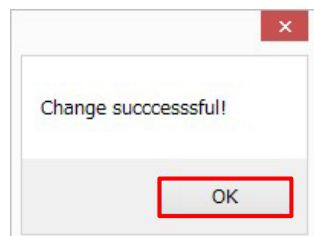
8) “Connect Type”を“LAN”に変更し「Save」をクリックします。



9) 「はい」をクリックします。



10) “Change successful!”と表示されれば変更完了ですので、「OK」をクリックします。



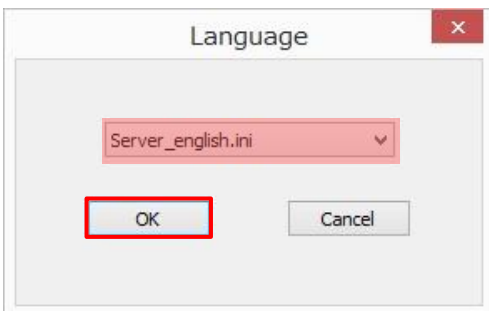
表示言語を変更することが出来ます。

なお、日本語には対応していない為、英語でのご利用を推奨します。

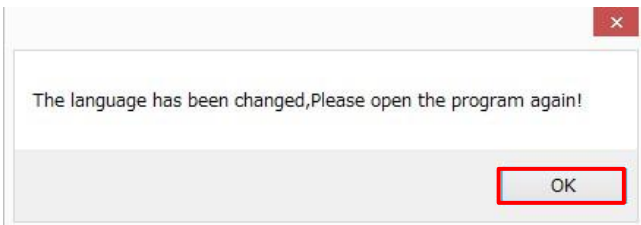
1) メニュー「Setup」-「Language」をクリックします。



2) “Server_english.ini”を選択し、「OK」をクリックします。

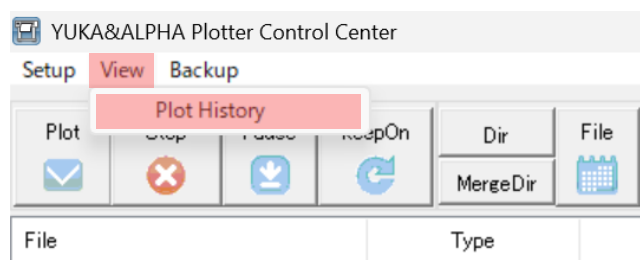


3) 下記ウィンドウが表示されたら「OK」をクリックします。
設定を適用する為に Plot ソフトが自動的に終了します。



AlphaJet の出力履歴を参照・印刷することが出来ます。

1) メニュー「View」-「Plot History」をクリックします。



2) Date の横で表示期間を指定し、View ボタンを押すと下図のような AlphaJet 出力履歴が表示されます。

Date	File Name	Print Type	Parameter Number	Parameter	Added Date	Plot Start Lines	Head Start Position(cm)	Plot Times	Rotates	Plot Length	Plot Start Date	Plot Time	Plot Result
2023/04/01	2023-04-01 08:50:52 .plt	General	0		2023-04-01 08:50:52	1	1	5	0	192.0cm	2023-04-01 08:51:15	28.82m	Successful
2025/12/31	2023-04-01 14:54:25 .plt	General	0		2023-04-01 14:54:25	1	1	1	0	116.0cm	2023-04-01 15:11:01	3.07m	Successful
	2023-04-01 15:10:01 .plt	General	0		2023-04-01 15:10:01	1	1	1	0	29.0cm	2023-04-01 15:14:12	0.68m	Successful
	2023-04-01 15:15:04 .plt	General	0		2023-04-01 15:15:04	1	1	1	0	83.0cm	2023-04-01 15:15:04	2.25m	Successful
	2023-04-01 16:01:38 .plt	General	0		2023-04-01 16:01:37	1	1	1	0	163.0cm	2023-04-01 16:01:38	4.20m	Successful
	2023-04-01 16:06:01 .plt	General	0		2023-04-01 16:02:39	1	1	1	0	27.0cm	2023-04-01 16:06:01	0.52m	Successful
	2023-04-03 08:29:35 .plt	General	0		2023-04-03 08:29:31	1	1	1	0	192.0cm	2023-04-03 08:29:35	5.55m	Successful
	2023-04-03 08:39:48 .plt	General	0		2023-04-03 08:39:34	1	1	5	0	192.0cm	2023-04-03 08:39:48	28.73m	Successful

Plot ボタンを押すと、本画面に表示されている出力履歴一覧をコピー機で印刷することができます。

3) 画面を閉じるときは Close を押してください。

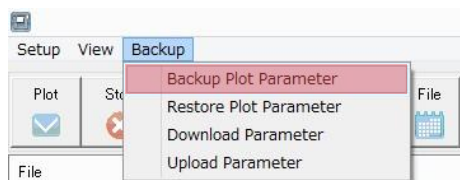
AlphaJet の環境設定をファイルにエクスポートすることができます。

特に[Setup Parameter]の設定を変更する際は、事前にバックアップを作成しておくことを推奨します。

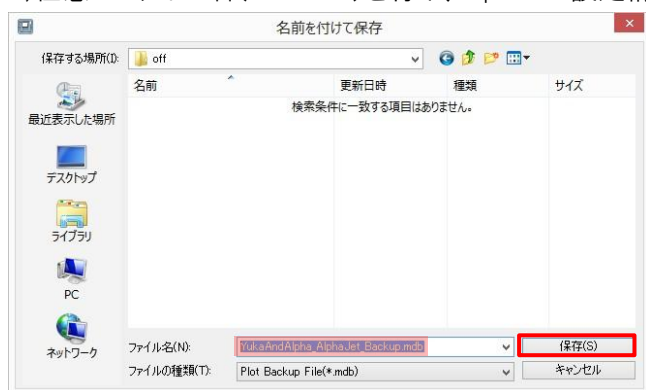
バックアップを取得しておくことで、不具合が発生した場合でも設定を元に戻すことが可能です。

■ AlphaJet 設定情報のバックアップ

1) メニュー「Backup」-「Backup Plot Parameter」をクリックします。

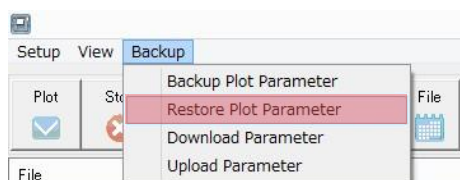


2) 任意のファイル名(***.mdb)を付け、AlphaJet 設定情報を保存することができます。



■ AlphaJet 設定情報のリストア

1) メニュー「Backup」-「Restore Plot Parameter」をクリックします。



2) 復元したいバックアップファイルを選択し「開く」をクリックします。



3) 「OK」をクリックすると、【YUKA&ALPHA Plotter Control Center】が終了します。

(5) ドライバーのインストール

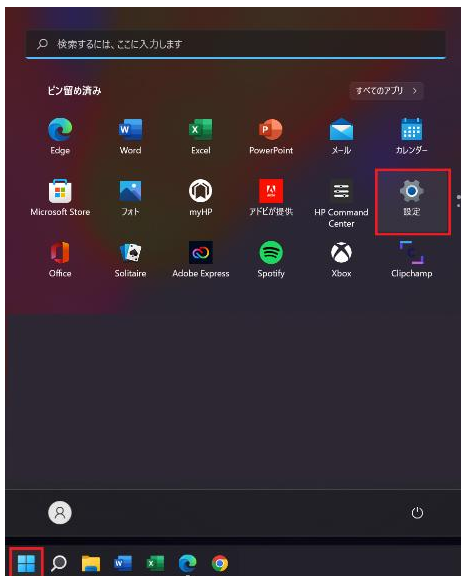
Windows Update の際に、AlphaJet のデバイスドライバーを削除されてしまうことがあります。

本項目では AlphaJet ドライバーの再インストールについて説明します。

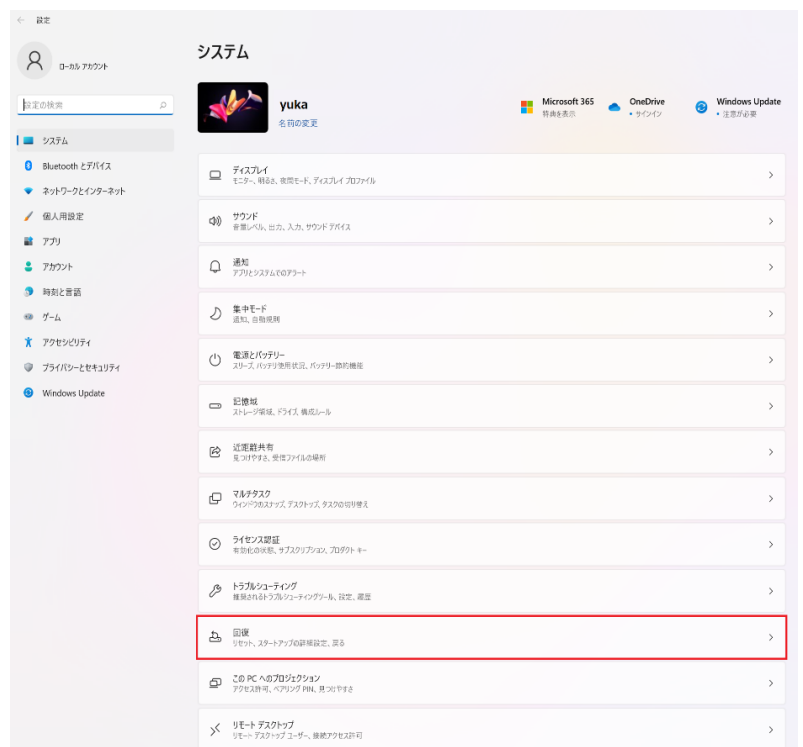
※Windows8 以降「デジタル署名」されていないデバイスドライバーのインストールが、通常ではできないようになっているため、ドライバー署名の強制化を無効にしてからインストール作業を実施する必要があります。以下の手順で進めてください。

1) ドライバー署名の強制化を無効 - Windows11 の場合

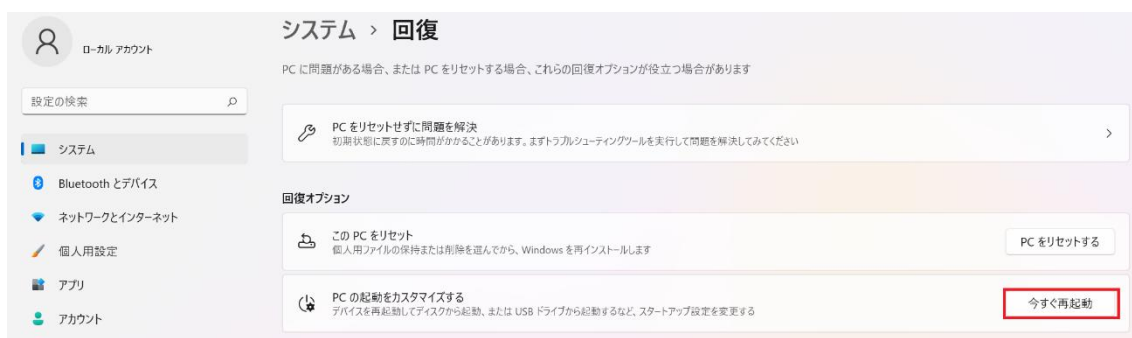
1) 「スタートメニュー」-「設定」をクリック。



2) 「回復」をクリック。



3) 「PC の起動をカスタマイズする」の『今すぐ再起動する』をクリック。

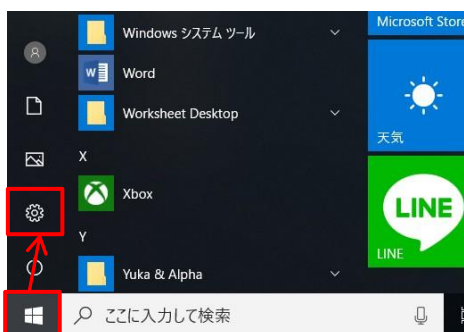


4) P.36 4)Windows11,10共通 に進みます。

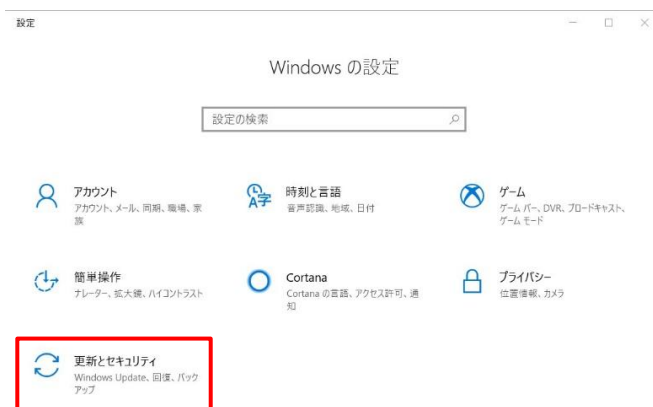
2) ドライバー署名の強制化を無効 - Windows10 の場合

1) 「スタートメニュー」-「設定」をクリック。

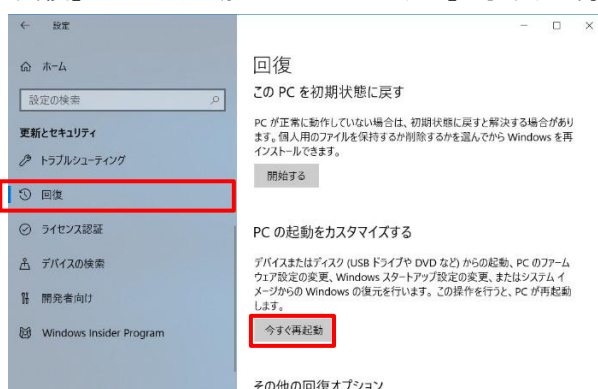
※Windows10 のバージョンによって設定アイコンの場所が違います



2) 「更新とセキュリティ」をクリック。

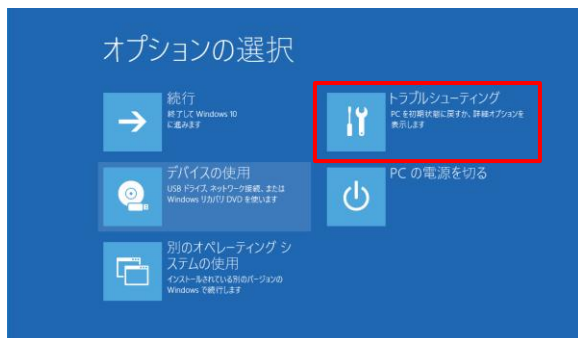


3) 「回復」-「PC の起動をカスタマイズする」の『今すぐ再起動する』をクリック。

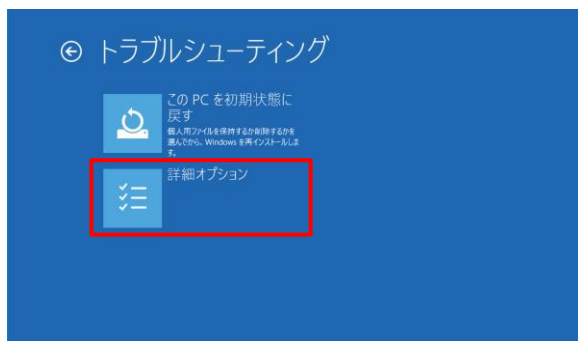


4) P.36 4)Windows11,10共通 に進みます。

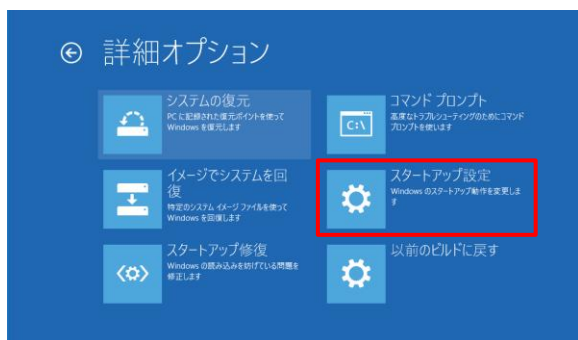
5) 「オプションの選択」-「トラブルシューティング」をクリック。



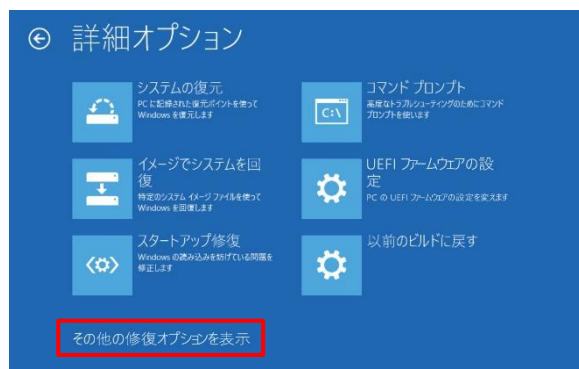
6) 「トラブルシューティング」で「詳細オプション」をクリック。



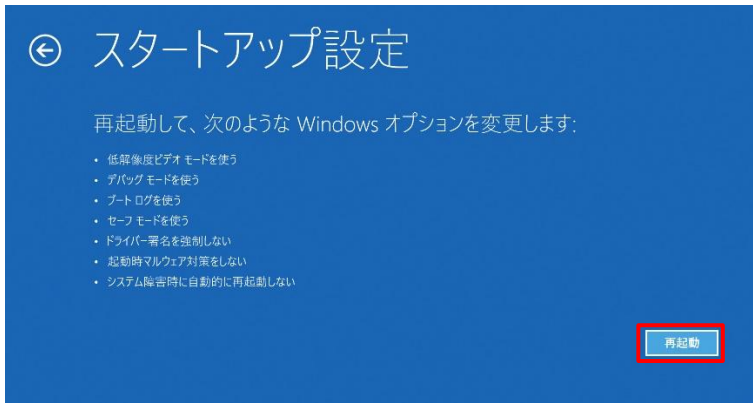
7) 「詳細オプション」-「スタートアップ設定」をクリック。



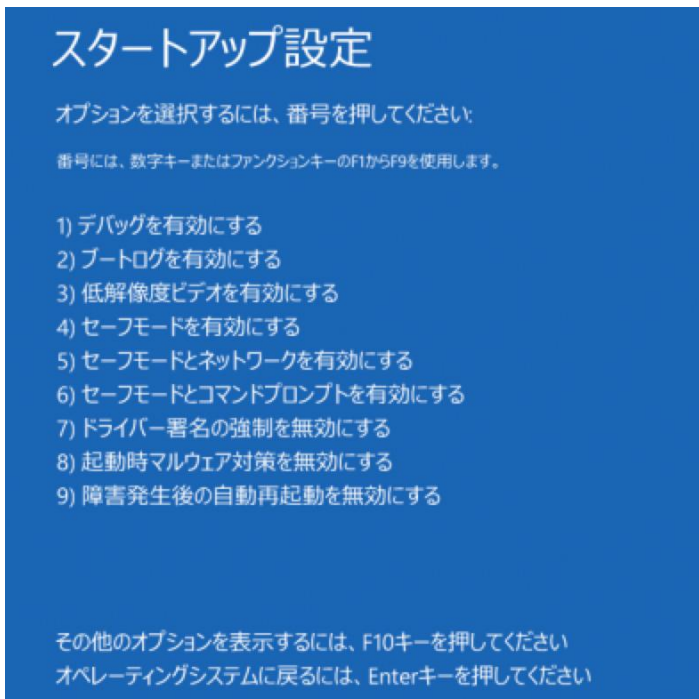
※もし「スタートアップ設定」が表示されていない場合は、下図のように「その他の修復オプションを表示」をクリックすると別画面で表示されます。



8) 「スタートアップ設定」-「再起動」をクリック。



9) 「スタートアップ設定」画面でキーボードの [F7] もしくは [7] キーを押す。






10) PC が再起動し、Windows が起動します。

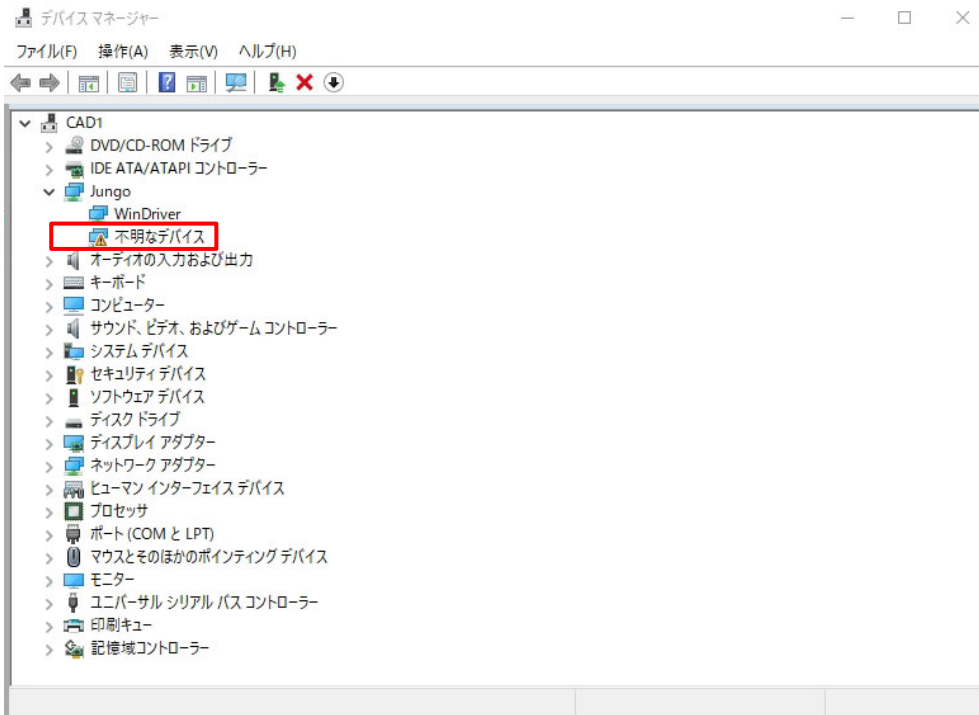
見た目は普通ですがデジタル署名なしでもインストール可能となっています。

11) 引き続き、次項以降を参照して作業を進めてください。

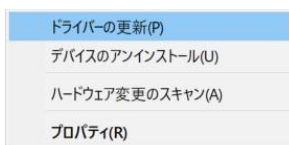
- 1) AlphaJet の電源を入れます。
- 2) スタートボタンの上で右クリックし、「デバイスマネージャー」を開きます

スタートボタン:  (Windows11)  (Windows10)

- 3) デバイスマネージャーを開き、「Jungo」-「不明なデバイス」(もしくは「SinaJet」)が  となり、正常に動作していない状態になっていると思われます。



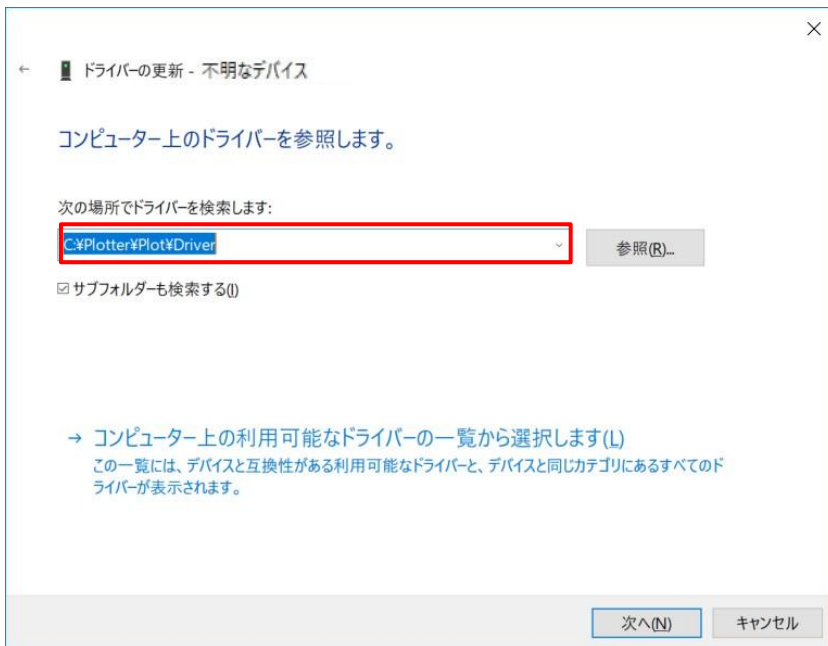
- 4) 「不明なデバイス」(もしくは「SinaJet」)で右クリックメニューを表示し、「ドライバーの更新」をクリックします。



- 5) ドライバーの検索方法で「→ コンピューターを参照してドライバーソフトウェアを検索」をクリックします。



- 6) 次の場所でドライバーを検索しますで「C:¥Plotter¥Plot¥Driver」を入力(参照)します。



- 7) [次へ]をクリックし、指示通りに進めていくことで正常に AlphaJet のデバイスドライバーが再インストールされます。

(6) トラブルと対処方法

症状	原因	対処
Plot ソフト画面左下の点灯色が緑に変わらない	USB 接続：Windows アップデートにより、USB ドライバーが削除された可能性があります。	p.34 「USB ドライバーの再インストール」の手順でドライバーの再インストールをお試しください。 USB ケーブル(PC 側)を抜き、別の差し口に変更してみてください。
	LAN 接続：PC が別のネットワークに接続されている。	PC と AlphaJet が同一ネットワーク上に存在するか確認してください。
	LAN 接続：LAN ケーブルの接触が緩んでいる。または劣化している。	LAN ケーブルの抜き差し・ケーブル変更をお試しください。
	LAN 接続：AlphaJet 本体に記憶させている IP アドレスが初期化された。	p.29 からの手順を参考に、IP アドレスの再設定を行ってください。
Plot ソフト画面左下の点灯色が緑になっているが、動作しない	「Pause」が有効になっている	AlphaJet 本体の「Pause」を押し、一時停止を解除してください。
	PC または USB ケーブルの不具合。	PC に差さっている AlphaJet の USB ケーブルを抜き、PC を再起動させてください。 再起動された後に、USB ケーブルを別の差し口に差しなおしてみてください。
用紙が正しく手前に出てこない 1 行だけ印刷して止まってしまう	静電気による紙の破け・用紙送り異常の可能性がります。	室内の湿度を高めるか、AlphaJet 本体へ静電気除去シートを貼り付けてみてください。
	エンコーダーローラーが紙に接していない。	p.6(8)のエンコーダーローラーを正しくセットしてください。
AlphaJet で出力した線がかすれてしまう	インクノズルの汚れ・固着・目詰まり。	インクカートリッジのノズル(吹き出し口)をティッシュペーパー等で押さえながら軽く振って清掃し、再度セットし直してみてください。
	インクの不良・リサイクルインク等の使用。	新しい HP45 純正インクに交換してみてください。
線が破線で出力される	インクカートリッジの不具合。	インクカートリッジのノズル(吹き出し口)をティッシュペーパー等で押さえながら軽く振って清掃し、再度セットし直して下さい。 新しい HP45 純正インクに交換してみてください。
		基板・ケーブル類の経年劣化。

症状	原因	対処
[File]をクリックしてもマーカーデータが表示されない	データの参照先が誤っている。	参照先が別のフォルダになっている可能性があります。 マーカーデータが格納されたフォルダを再度選択してください。
画面に「send data error」と表示されて動かない	通信状況が安定していない。	ケーブルを抜き差しし、少し時間をおいて再出力をお試しください。
	エンコーダーローラーが紙に接していない。	p.6(8)のエンコーダーローラーを正しくセットしてください。
	PCの不具合。	PCの再起動をお試しください。
	USBケーブルの接触・認識不良。	PC側に差さっているUSBケーブルの差し口の変更をお試しください。
	ロール紙の取り付けかたが誤っている。	p.3からの手順を参考に、ロール紙を再度セットし直してください。
INKOUTのランプが点滅し、音が鳴る	インクカートリッジの取り付けが緩い・接触不良。	電源を切った状態でインクを再度付け直してください。 セットする際、基盤のある背中側を押し付けるようにしっかり奥まで押し込んでください。
	インクの相性・リサイクルインク等の使用。	新しいHP45純正インクに交換してみてください。
AlphaJetにて用紙送り方向(X)の線が段々と片側にズレていく	用紙のセット方法が誤っている用紙が斜行してセットされている。	ロール紙をp.3からの手順に沿って斜行しないように再度取り付けなおしてみてください。 ロール紙を止めているフランジに隙間・ゆりみがある場合は締め直してください。
	静電気により用紙が本体に張り付いてしまっている。	室内の湿度を高めるか、AlphaJet本体へ静電気除去シートを貼り付けてみてください。
スケールを補正したい	湿度の変化で紙は伸縮を繰り返すため、その結果作画スケールがズレる場合があります。	p.19「スケールの調整」をお試しください。
右端だけ印刷されていない	プレートの上にインクが乗って描かれてしまっている。	銀のプレートを紙に5mm程度乗るくらいまで寄せて調整してください。
	印刷位置が右寄りの設定になっている。	Head Start Positionの設定を調整してください。(p.26 4-4)
用紙送りをしない・用紙送りが止まらない・紙の巻取りをおこなわない	モーター制御センサーの不感知。隙間が離れすぎている。	センサーとテンションバーの隙間が1mmほどの間隔になるようにナットで調整してください。
本体の操作パネルが反応しない	パネル部ボタンの故障。	状況により、修理が必要となる場合があります。担当営業までお問い合わせください。

症状	原因	対処
<p>無停電電源装置(UPS)から音が鳴り、バッテリー交換警告が表示された。</p>	<p>バッテリーの寿命。</p>	<p>ピーッピーッという警告音は以下の方法で消すことができます。</p> <p>○オムロン BN50S 本体の「ブザー停止/テスト」ボタンを長押し</p> <p>○オムロン BN50T 本体の「ESC」ボタンを長押し</p> <p>※バッテリー寿命の為蓄電は出来ませんが、安定した電圧の供給は可能です。 しかし予期せぬ停電が起こった場合接続された機器の故障に繋がりますので、オムロンダイレクトなどで新しいバッテリーをお早めにお買い求めください。</p>
<p>インクカートリッジ蓋の裏のバネが取れてしまった</p>	<p>蓋に力をかけて締めてしまうと、破損に繋がります。 部品が取れてしまっただけであれば、再度取り付けることができます。</p>	<p>赤い丸で囲んだ箇所(爪)の破損が無い場合は再度取り付けることができます。 ※破損有の場合は弊社までご相談ください。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. バネを緑色の部分に置きます。 2. バネ押さえ部の部品でバネを押しながら、横からスライドするように取り付けます。 <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;">  <p>イメージ画像</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>正しい状態</p> </div> </div>



株式
会社

ユカアンドアルファ

オフィシャルサイト

<https://www.yuka-alpha.com>

サポートアドレス

support@yuka-alpha.com

サポートダイヤル

050-5502-3010

<東京本社>

〒150-0022

東京都渋谷区恵比寿南 1-1-10 サウスコラム小林 6F

TEL : 03-6452-2626 FAX : 03-6452-2627

<大阪営業所>

〒541-0052

大阪府大阪市中央区安土町1丁目7-13 トヤマビル本館 5F

TEL : 06-4705-8011 FAX : 06-4705-8012

<名古屋営業所>

〒460-0003

愛知県名古屋市中区錦 2-8-26 宮井ビル 9F

TEL : 052-222-6277 FAX : 052-222-6278